

**富良野市**  
**こども計画策定アンケート**  
**(保護者)**  
**結果報告書**

**令和8年3月**  
**富良野市**



# 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
<b>1 調査の目的及び調査方法等</b> .....	<b>1</b>
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査対象及び調査方法、回収結果.....	1
<b>2 本調査報告書の基本的な事項</b> .....	<b>1</b>
(1) 数値の基本的な取り扱いについて .....	1
<b>II 調査結果</b> .....	<b>2</b>
<b>1 回答者の属性</b> .....	<b>2</b>
(1) 続柄 .....	2
(2) 居住地区.....	2
(3) 生計を同一にしている家族の構成と人数 .....	3
(4) 子どもの親の現在の年齢.....	6
(5) 単身赴任中の家族.....	8
(6) 生計を同一にしている親の婚姻状況.....	9
(7) 養育費の取り決め .....	10
(8) 親の卒業・修了学校 .....	11
(9) 親の就労状況 .....	12
(10) 働いていない理由 .....	14
(11) 子どもが0～2歳の間に通っていた主な施設等 .....	16
(12) 子どもが3～5歳の間に通っていた主な施設等 .....	17
(13) 保護者と子どもの関わり方 .....	18
(14) 学校行事などへの参加程度 .....	19
(15) 子どもの将来の進学先.....	20
(16) 進学先の志望動機 .....	21
(17) 頼れる人の有無 .....	22
(18) 現在の暮らしの状況 .....	28
(19) 苦しいと思う理由 .....	29
(20) 世帯年収 .....	30
(21) 過去1年間にお金が足りず必要とする食料が買えないこと .....	31
(22) 過去1年間にお金が足りず必要とする衣服が買えないこと .....	32
(23) 過去1年間に経済的な理由で未払いになった公共料金等.....	33
(24) この1か月間の保護者の気持ち .....	34

(25) 最近の生活の満足度.....	35
(26) 支援制度の利用経験 .....	37
(27) 利用したことがない理由.....	38
(28) 子どもにとっての安心する居場所 .....	39
(29) あれば良いと思う居場所.....	41
(30) 「こどもの権利」についての認知度 .....	42
(31) 関心があること .....	43
(32) 子どもがやっている文化的な活動 .....	44
(33) 子どもが好きだったこと .....	45
(34) 幼稚園・保育園での活動以外でさせていたこと .....	47
(35) 市が特に取り組むべきこと.....	49

# I 調査の概要

## 1 調査の目的及び調査方法等

### (1) 調査目的

現行の「第3期子ども・子育て支援事業計画」に加え、支援対象を子どもや若者世代へと拡充し「富良野市子ども計画」を策定し、子どもや子育て当事者、子育て支援団体等を総合的に支援する体制づくりのための基礎調査として、アンケート調査を実施しました。

### (2) 調査対象及び調査方法、回収結果

項目	内容
調査対象	0歳～18歳のお子さんがある保護者世帯
調査方法	WEB回答
調査時期	令和7年12月
調査地区	富良野市内全域
配付数	1,320票
有効回収数	488票
有効回収率	37.0%

## 2 本調査報告書の基本的な事項

### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

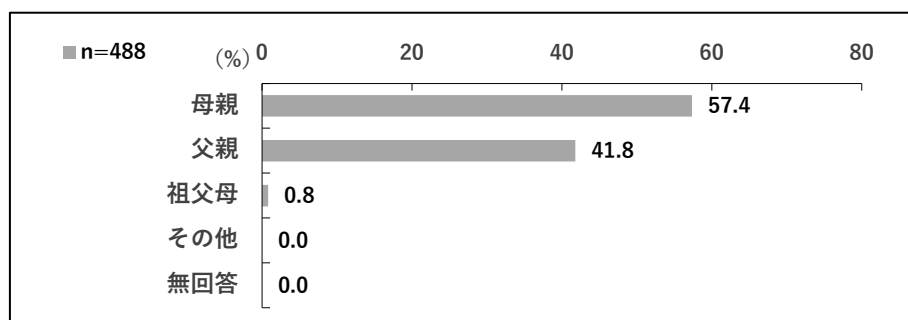
- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 各設問のグラフの母集団の総数は、 $n = \text{〇〇〇}$ として掲載し、各比率は $n$ を100%として算出しています。
- ③ 回答者が複数の選択肢を回答できる設問については、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。
- ④ 文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化しています。
- ⑤ 属性別の集計結果であるクロス集計表を掲載していますが、属性別の回答状況により回答者数が少なく、統計的有意性の低い集計結果も含まれるため、あくまで参考データとなります。

## II 調査結果

### 1 回答者の属性

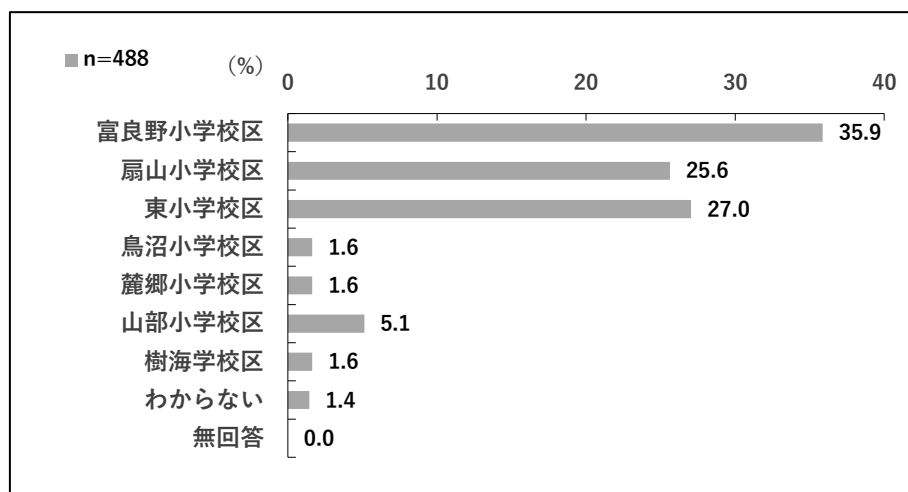
#### (1) 続柄

回答者の続柄は、「母親」(57.4%)、「父親」(41.8%)、「祖父母」(0.8%)となっています。



#### (2) 居住地区

回答者の居住地区は、「富良野小学校区」(35.9%)、「東小学校区」(27.0%)、「扇山小学校区」(25.6%)、「山部小学校区」(5.1%)、「鳥沼小学校区」(1.6%)、「麓郷小学校区」(1.6%)、「樹海小学校区」(1.6%)となっています。



### (3) 生計を同一にしている家族の構成と人数

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任(ふにん)中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(①～⑧それぞれについて、あてはまるもの1つを選択)

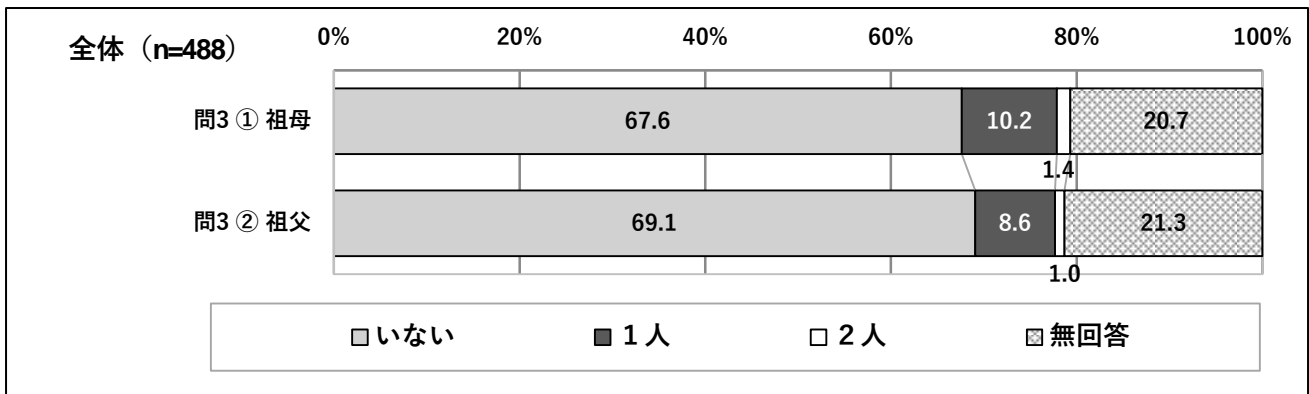
#### 結果概要

4人家族が約3割台半ばを占め、最も多い。

生計を同一にしているご家族の構成と人数については、以下のとおりとなっています。

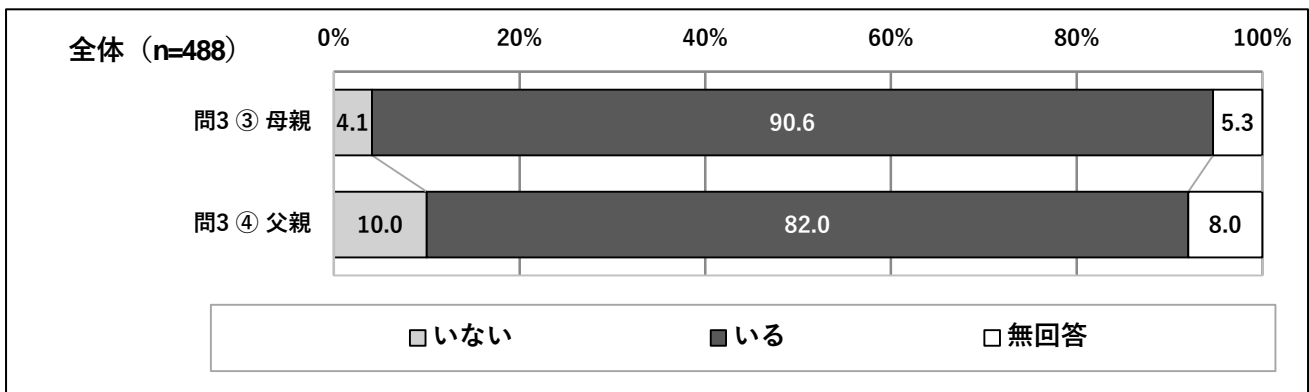
- ① 祖母 「いない」(67.6%)、「1人」(10.2%)、「2人」(1.4%)となっています。
- ② 祖父 「いない」(69.1%)、「1人」(8.6%)、「2人」(1.0%)となっています。

■ 祖母・祖父母人数 (全体) ■



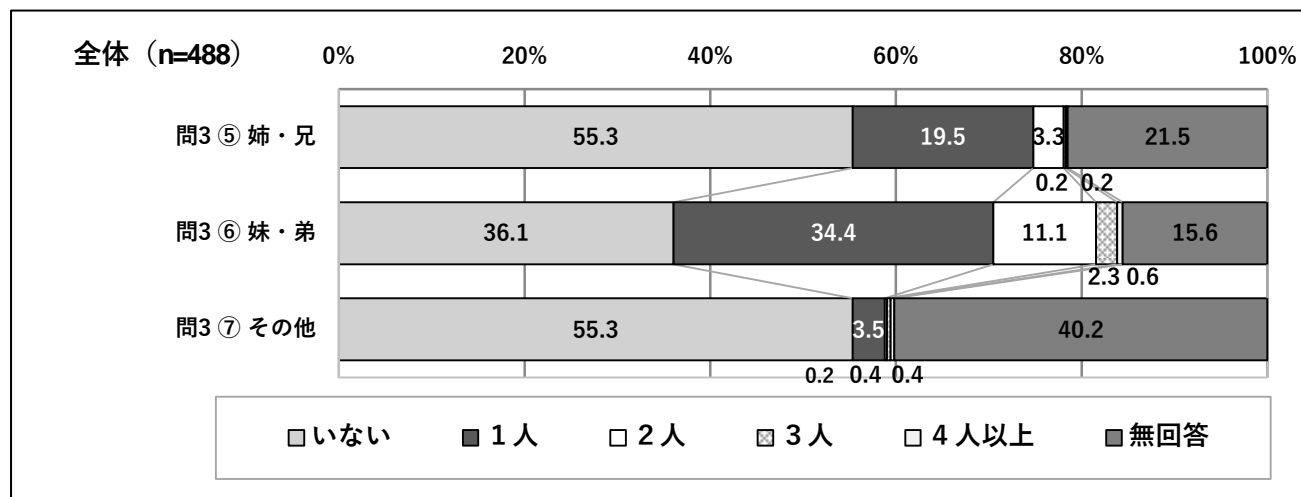
- ③ 母親 「いる」(90.6%)、「いない」(4.1%)となっています。
- ④ 父親 「いる」(81.6%)、「いない」(10.5%)となっています。

■ 母親・父親人数 (全体) ■



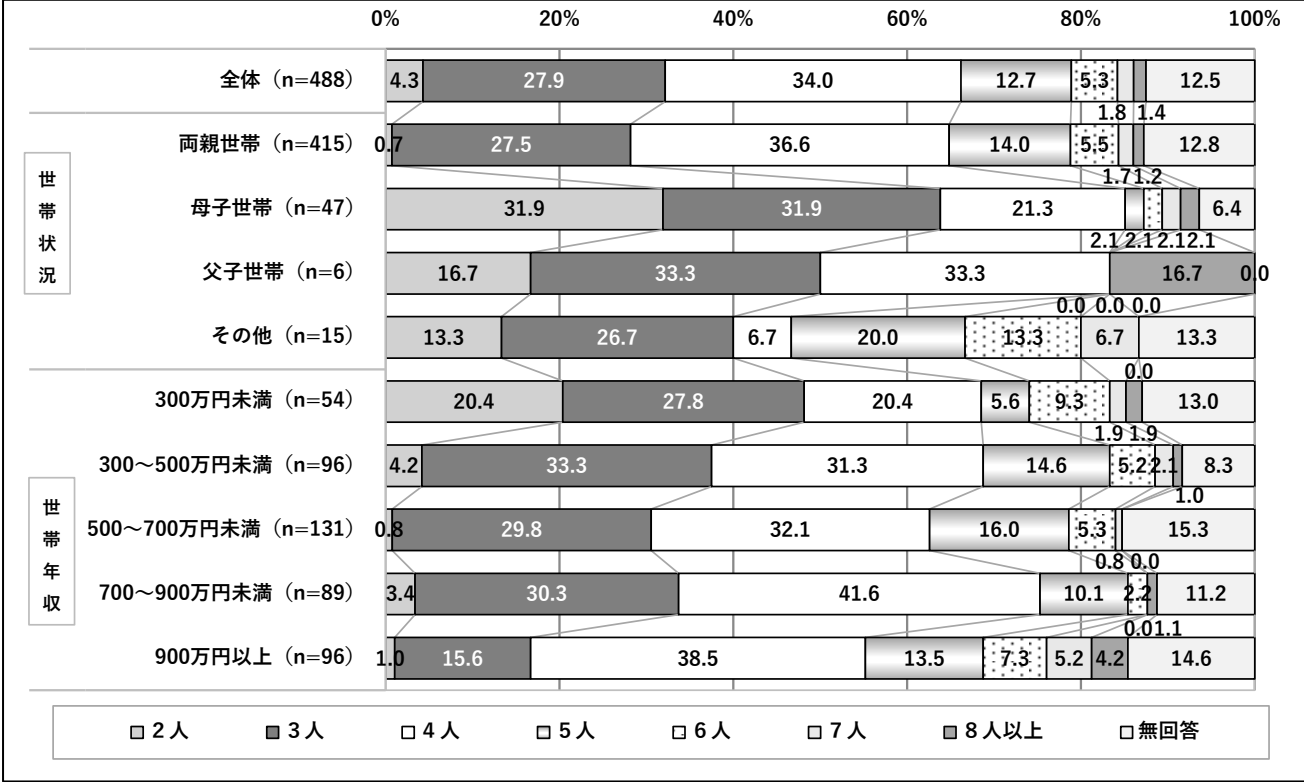
- ⑤ 姉・兄 「いない」 (55.3%)、「1人」(19.5%)、「2人」(3.3%)、「3人」(0.2%)、「4人以上」(0.2%) となっています。
- ⑥ 妹・弟 「いない」 (36.1%)、「1人」(34.4%)、「2人」(11.1%)、「3人」(2.3%)、「4人以上」(0.6%) となっています。
- ⑦ その他 「いない」 (55.3%)、「1人」(3.5%)、「3人」(0.4%)、「4人以上」(0.4%)、「2人」(0.2%) となっています。

■ 姉・兄・妹・弟・その他人数 (全体) ■



⑧ 合計人数「4人」(34.0%)、「3人」(27.9%)、「5人」(12.7%)、「6人」(5.3%)、「2人」(4.3%)、「7人」(1.8%)、「8人以上」(1.4%)となっています。

■ 合計人数 (世帯状況・世帯年収) ■



## (4) 子どもの親の現在の年齢

問4 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。

(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

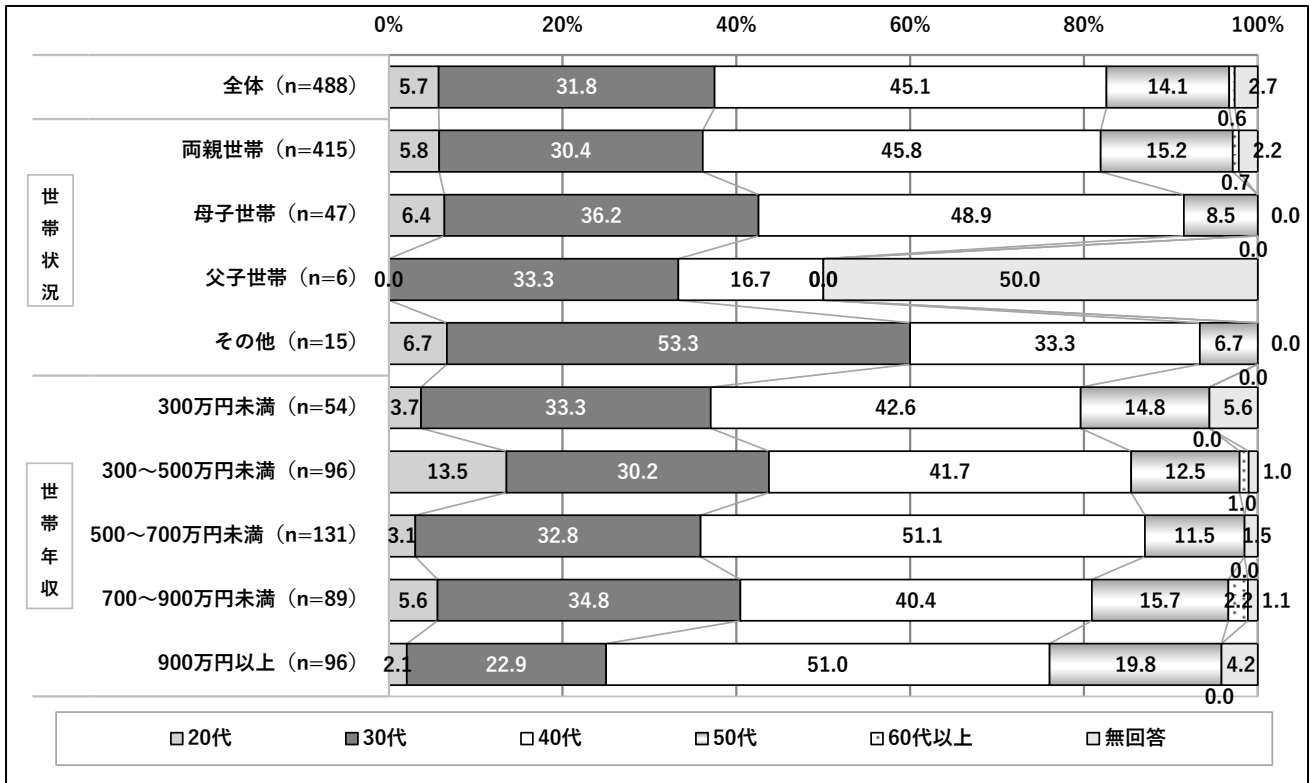
### 結果概要

母親、父親ともに「40代」が最も多い。

#### ① 母親の年齢

母親の現在の年齢については、「40代」(45.1%)が最も多く、以下「30代」(31.8%)、「50代」(14.1%)、「20代」(5.7%)、「60代以上」(0.6%)となっています。

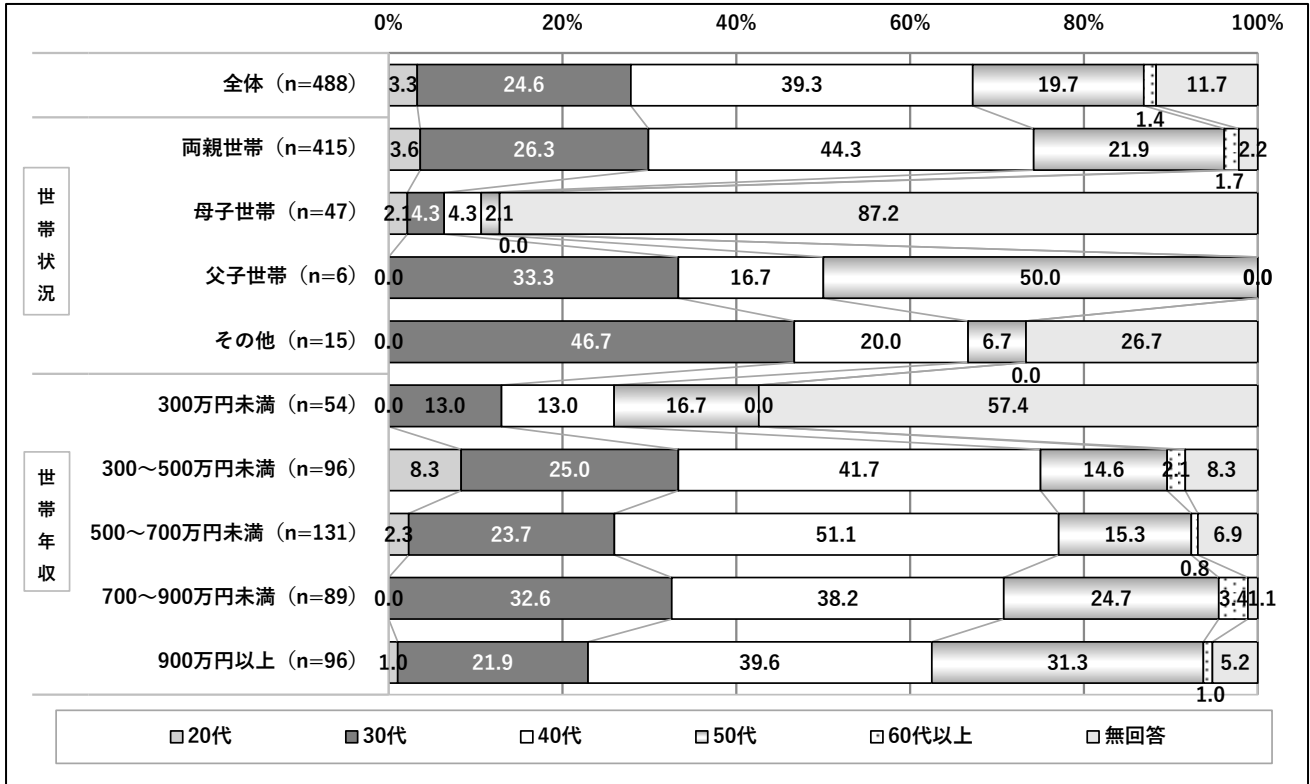
■ ① 母親の年齢 (世帯状況・世帯年収) ■



② 父親の年齢

父親の現在の年齢については、「40代」（39.3%）、「30代」（24.6%）、「50代」（19.7%）、「20代」（3.3%）、「60代以上」（1.4%）となっています。

■ ② 父親の年齢（世帯状況・世帯年収） ■



## (5) 単身赴任中の家族

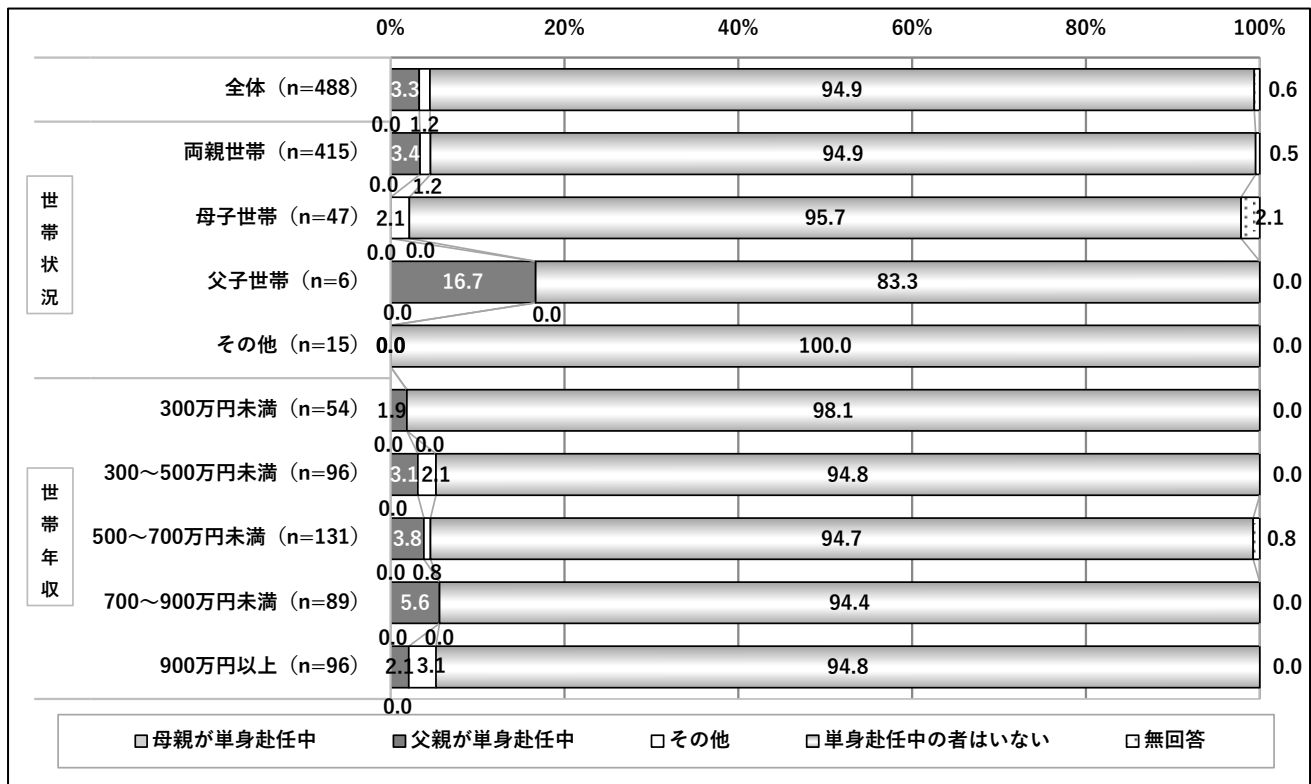
問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(1～3については、あてはまるものすべてを選択)

### 結果概要

**「単身赴任中の者はいない」が9割台半ばを占める。**

単身赴任中の家族については、「単身赴任中の者はいない」(94.9%)、「父親が単身赴任中」(3.3%)となっています。

■ 単身赴任中の家族 (世帯状況・世帯年収) ■



## (6) 生計を同一にしている親の婚姻状況

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(あてはまるもの1つを選択)

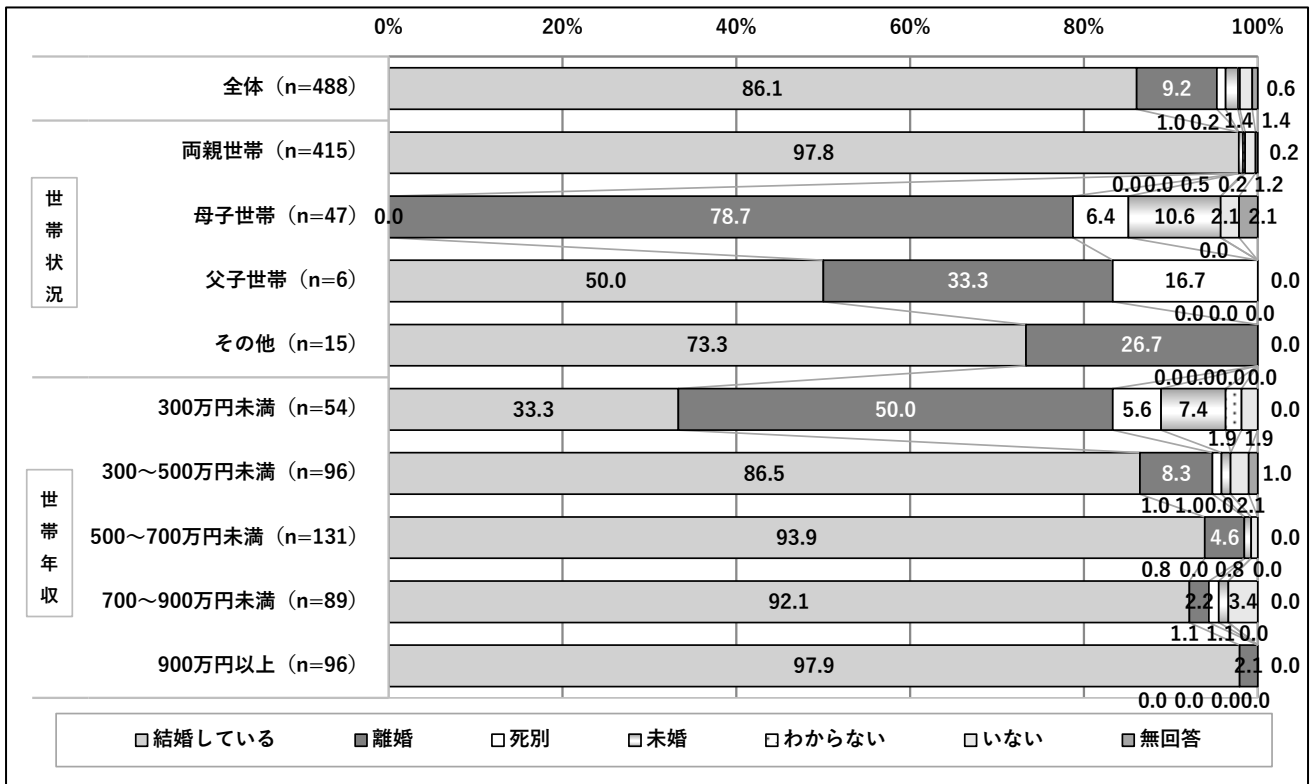
### 結果概要

「結婚している」が9割弱を占める。

生計を同一にしている親の婚姻状況については、「結婚している」(86.1%)が最も多く、以下「離婚」(9.2%)、「未婚」(1.4%)、「死別」(1.0%)となっています。

世帯年収別で見ると、300万円未満では「離婚」の割合が5割となっており、他の世帯と比べて高くなっています。

■ 生計を同一にしている親の婚姻状況 (世帯状況・世帯年収) ■



## (7) 養育費の取り決め

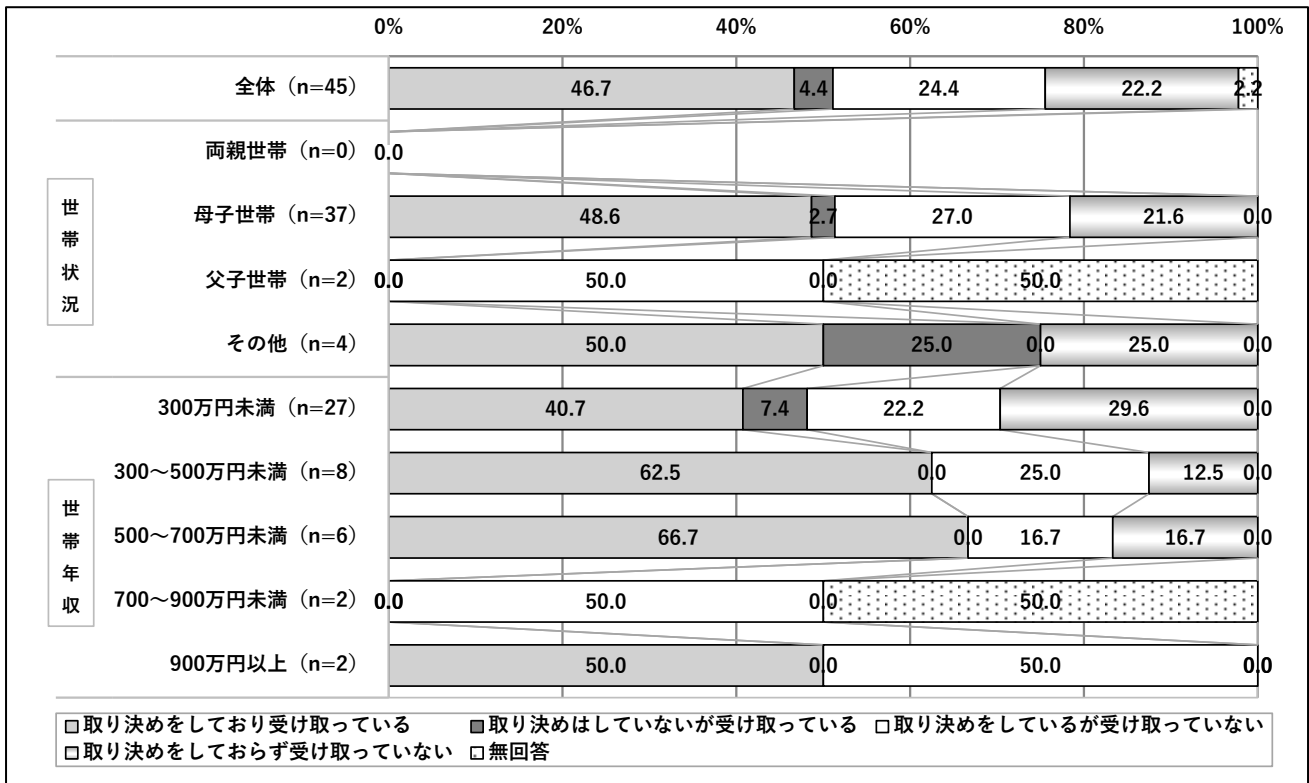
問7 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。  
また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つを選択)

### 結果概要

「取り決めをしており受け取っている」が5割弱を占める。

養育費の取り決めについては、「取り決めをしており受け取っている」(46.7%)が最も多く、以下「取り決めをしているが受け取っていない」(24.4%)、「取り決めをしておらず受け取っていない」(22.2%)、「取り決めはしていないが受け取っている」(4.4%)となっています。

■ 養育費の取り決め (世帯状況・世帯年収) ■



## (8) 親の卒業・修了学校

問8 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。  
(①,②それぞれについて、あてはまるものひとつを選択)

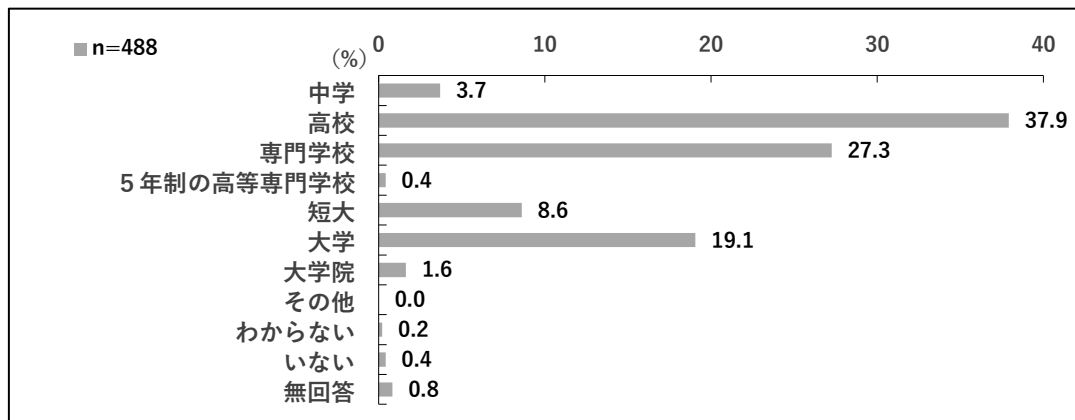
### 結果概要

母親、父親ともに「高校」が最も多い。

#### ① 母親

母親の卒業・修了学校については、「高校」(37.9%)が最も多く、以下「専門学校」(27.3%)、「大学」(19.1%)、「短大」(8.6%)、「中学」(3.7%)、「大学院」(1.6%)、「5年制の高等専門学校」(0.4%)となっています。

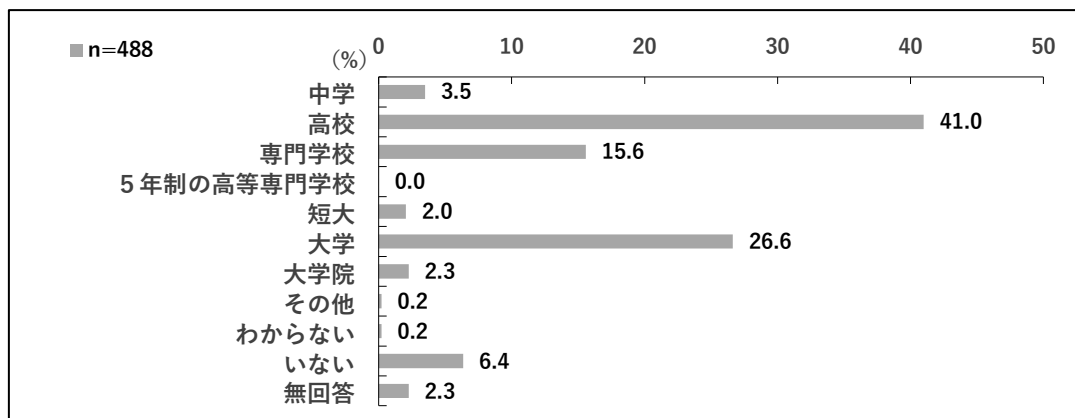
■ 親の卒業・修了学校 ① 母親 (全体) ■



#### ② 父親

父親の卒業・修了学校については、「高校」(41.0%)が最も多く、以下「大学」(26.6%)、「専門学校」(15.6%)、「中学」(3.5%)、「大学院」(2.3%)、「短大」(2.0%)となっています。

■ 親の卒業・修了学校 ② 父親 (全体) ■



## (9) 親の就労状況

問9 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(①,②それぞれについて、あてはまるもの1つを選択)

### 結果概要

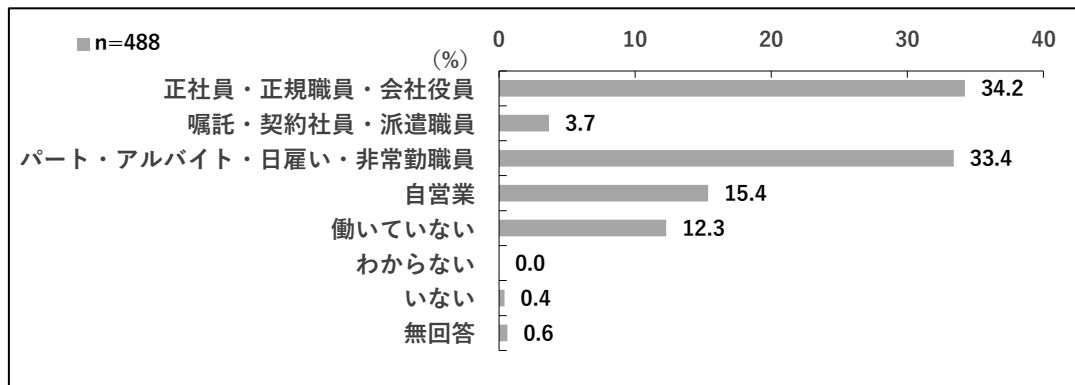
**母親、父親ともに「正社員・正規職員・会社役員」が最も多い。**

#### ① 母親

母親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」(34.2%)が最も多く、以下「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」(33.4%)、「自営業」(15.4%)、「嘱託・契約社員・派遣職員」(3.7%)となっています。なお、「働いていない」は12.3%となっています。

世帯年収別でみると、世帯年収が高くなるにつれて、「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなる傾向がみられます。

#### ■ 親の就労状況 ① 母親 (全体) ■



#### ■ 親の就労状況 ① 母親 (世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け) ■

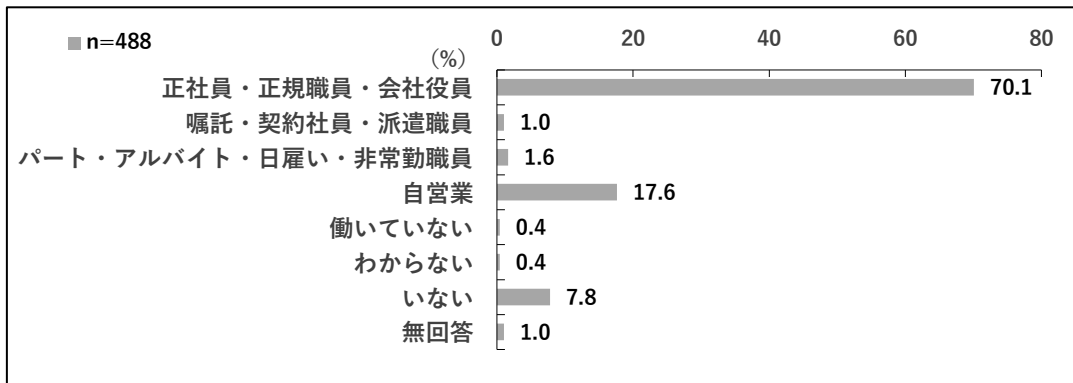
	合計	問9 親の就労状況 ① 母親							
		正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業	働いていない	わからない	いない	無回答
全体	488	167	18	163	75	60	0	2	3
	100.0%	34.2%	3.7%	33.4%	15.4%	12.3%	0.0%	0.4%	0.6%
世帯状況									
両親世帯	426	142	11	142	72	57	0	0	2
	100.0%	33.3%	2.6%	33.3%	16.9%	13.4%	0.0%	0.0%	0.5%
母子世帯	47	20	7	16	1	2	0	0	1
	100.0%	42.6%	14.9%	34.0%	2.1%	4.3%	0.0%	0.0%	2.1%
父子世帯	6	3	0	0	1	0	0	2	0
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
その他	4	2	0	2	0	0	0	0	0
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
世帯年収									
300万円未満	54	9	5	24	11	4	0	1	0
	100.0%	16.7%	9.3%	44.4%	20.4%	7.4%	0.0%	1.9%	0.0%
300~500万円未満	96	20	3	42	13	18	0	0	0
	100.0%	20.8%	3.1%	43.8%	13.5%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%
500~700万円未満	131	40	3	53	14	21	0	0	0
	100.0%	30.5%	2.3%	40.5%	10.7%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%
700~900万円未満	89	42	2	28	7	9	0	1	0
	100.0%	47.2%	2.2%	31.5%	7.9%	10.1%	0.0%	1.1%	0.0%
900万円以上	96	49	4	10	27	6	0	0	0
	100.0%	51.0%	4.2%	10.4%	28.1%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%

② 父親

父親の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」（70.1%）、「自営業」（17.6%）、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（1.6%）、「嘱託・契約社員・派遣職員」（1.0%）となっています。

世帯年収別でみると、300万円未満では、父親が“いない”の割合が4割台半ばを占め、他の世帯より高くなっています。

■ 親の就労状況 ② 父親（全体） ■



■ 親の就労状況 ② 父親（世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け） ■

	合計	問9 親の就労状況 ② 父親								
		正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業	働いていない	わからない	いない	無回答	
全体	488 100.0%	342 70.1%	5 1.0%	8 1.6%	86 17.6%	2 0.4%	2 0.4%	38 7.8%	5 1.0%	
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	329 77.2%	5 1.2%	6 1.4%	81 19.0%	2 0.5%	1 0.2%	0 0.0%	2 0.5%
	母子世帯	47 100.0%	7 14.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.4%	0 0.0%	1 2.1%	33 70.2%	3 6.4%
	父子世帯	6 100.0%	4 66.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
	世帯年収	54 100.0%	10 18.5%	1 1.9%	3 5.6%	13 24.1%	0 0.0%	2 3.7%	24 44.4%	1 1.9%
	96 100.0%	68 70.8%	1 1.0%	2 2.1%	16 16.7%	1 1.0%	0 0.0%	8 8.3%	0 0.0%	
	131 100.0%	111 84.7%	1 0.8%	0 0.0%	13 9.9%	1 0.8%	0 0.0%	4 3.1%	1 0.8%	
	89 100.0%	76 85.4%	0 0.0%	1 1.1%	12 13.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	96 100.0%	65 67.7%	0 0.0%	1 1.0%	28 29.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.1%	0 0.0%	

## (10) 働いていない理由

問 10 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

(①,②それぞれについて、あてはまるもの1つを選択)

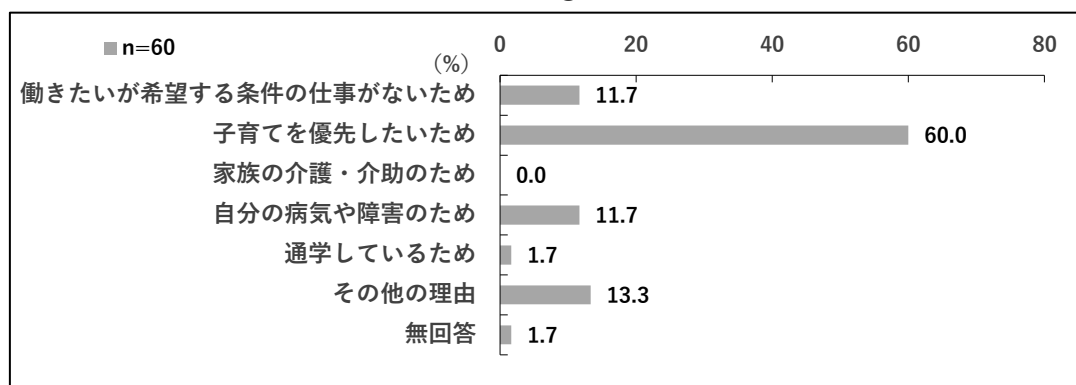
### 結果概要

母親は、「子育てを優先したいため」、父親は「自分の病気や障害のため」が最も多い。

#### ① 母親

母親の働いていない理由については、「子育てを優先したいため」(60.0%)が最も多く、以下「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」・「自分の病気や障害のため」(同率 11.7%)、「通学しているため」(1.7%)となっています。

■ 働いていない理由 ① 母親 (全体) ■



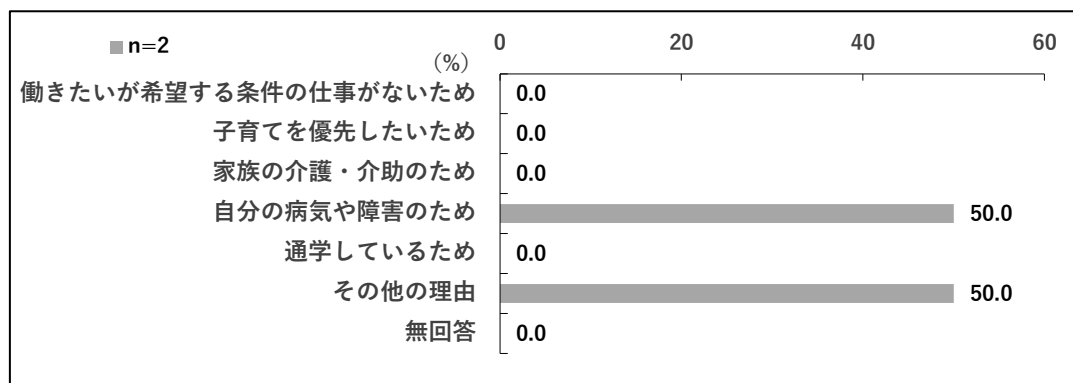
■ 働いていない理由 ① 母親 (世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け) ■

	合計	問10 働いていない理由 ① 母親							
		働きたいが、希望する条件の仕事がないため	子育てを優先したいため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障害のため	通学しているため	その他の理由	無回答	非該当
全体	60	7	36	0	7	1	8	1	428
	100.0%	11.7%	60.0%	0.0%	11.7%	1.7%	13.3%	1.7%	
世帯状況									
両親世帯	57	7	35	0	6	1	7	1	369
	100.0%	12.3%	61.4%	0.0%	10.5%	1.8%	12.3%	1.8%	
母子世帯	2	0	1	0	1	0	0	0	45
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
父子世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
世帯年収									
300万円未満	4	0	0	0	1	0	2	1	50
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	
300～500万円未満	18	2	10	0	2	1	3	0	78
	100.0%	11.1%	55.6%	0.0%	11.1%	5.6%	16.7%	0.0%	
500～700万円未満	21	3	13	0	4	0	1	0	110
	100.0%	14.3%	61.9%	0.0%	19.0%	0.0%	4.8%	0.0%	
700～900万円未満	9	2	7	0	0	0	0	0	80
	100.0%	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
900万円以上	6	0	4	0	0	0	2	0	90
	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	

## ② 父親

父親の働いていない理由については「自分の病気や障害のため」（50.0%）、「その他の理由」（50.0%）となっています。

■ 働いていない理由 ② 父親（全体） ■



## (11) 子どもが0～2歳の間に通っていた主な施設等

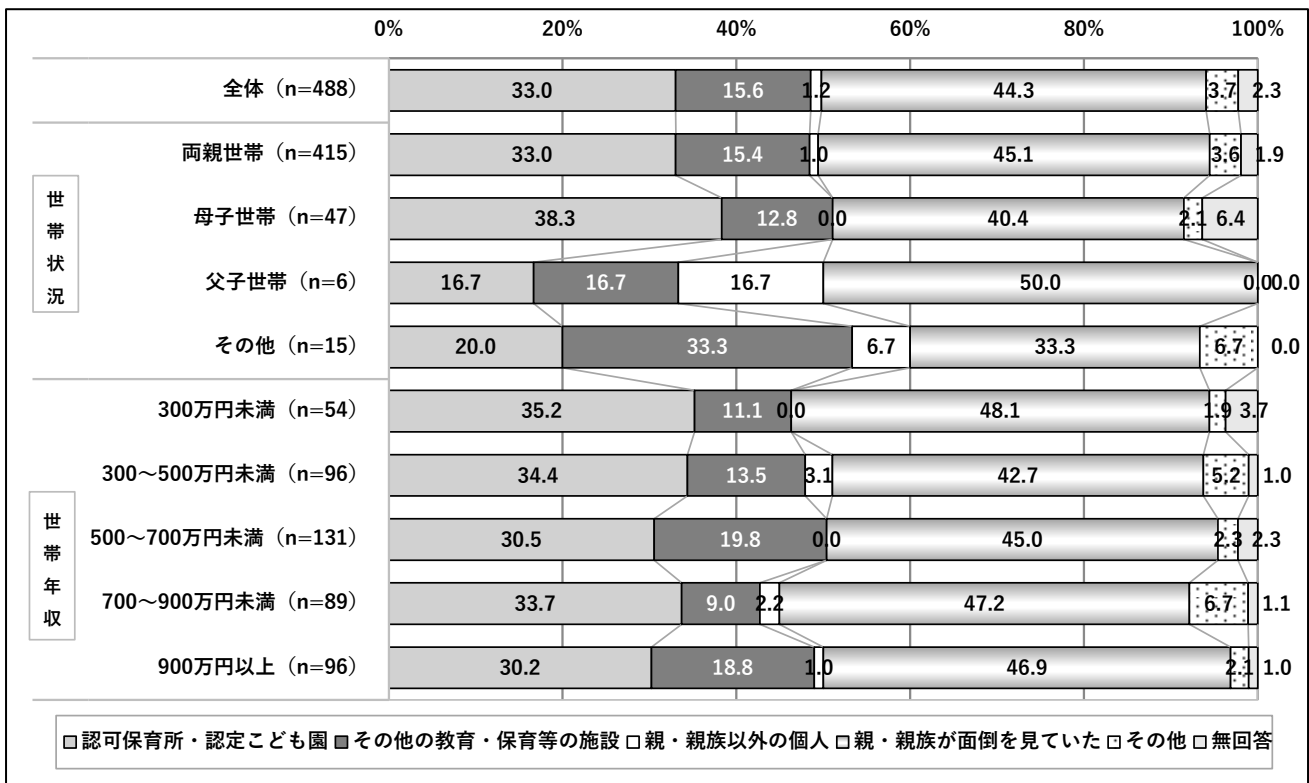
問 11 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つを選択）

### 結果概要

**「親・親族が面倒を見ていた」が4割台半ばを占める。**

子どもが0～2歳の間に通っていた主な施設等については、「親・親族が面倒を見ていた」（44.3%）が最も多く、以下「認可保育所・認定子ども園」（33.0%）、「その他の教育・保育等の施設」（15.6%）、「親・親族以外の個人」（1.2%）となっています。

### ■ 子どもが0～2歳の間に通っていた主な施設等（世帯状況・世帯年収） ■



## (12) 子どもが3～5歳の間に通っていた主な施設等

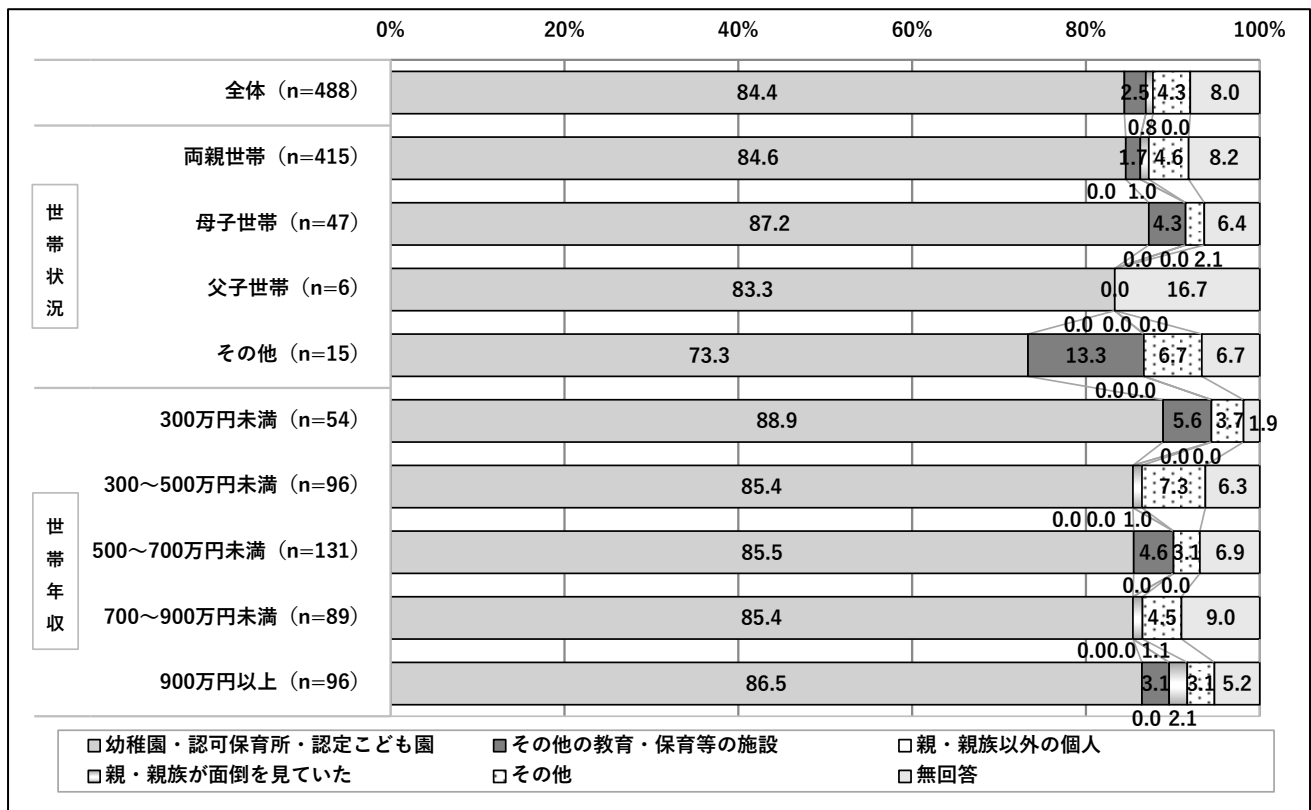
問 12 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つを選択）

### 結果概要

「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が8割台半ばを占める。

子どもが3～5歳の間に通っていた主な施設等については、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」（84.4%）が最も多く、以下「その他の教育・保育等の施設」（2.5%）、「親・親族が面倒を見ていた」（0.8%）となっています。

### ■ 子どもが3～5歳の間に通っていた主な施設等（世帯状況・世帯年収） ■



### (13) 保護者と子どもの関わり方

問 13 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

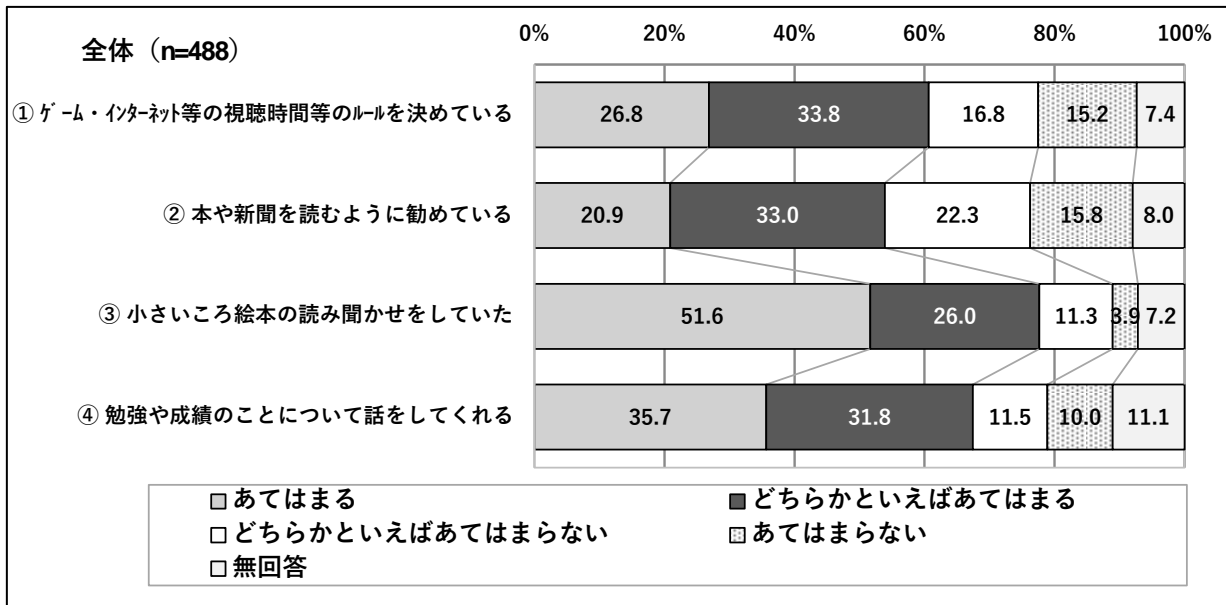
(①～④それぞれについて、あてはまるもの 1 つを選択)

#### 結果概要

「小さいころ絵本の読み聞かせをしていた」について、「あてはまる」の割合が最も高い。

保護者と子どもの関わり方については、以下のとおりとなっています。

#### ■ 保護者と子どもの関わり方（全体） ■



## (14) 学校行事などへの参加程度

問 14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

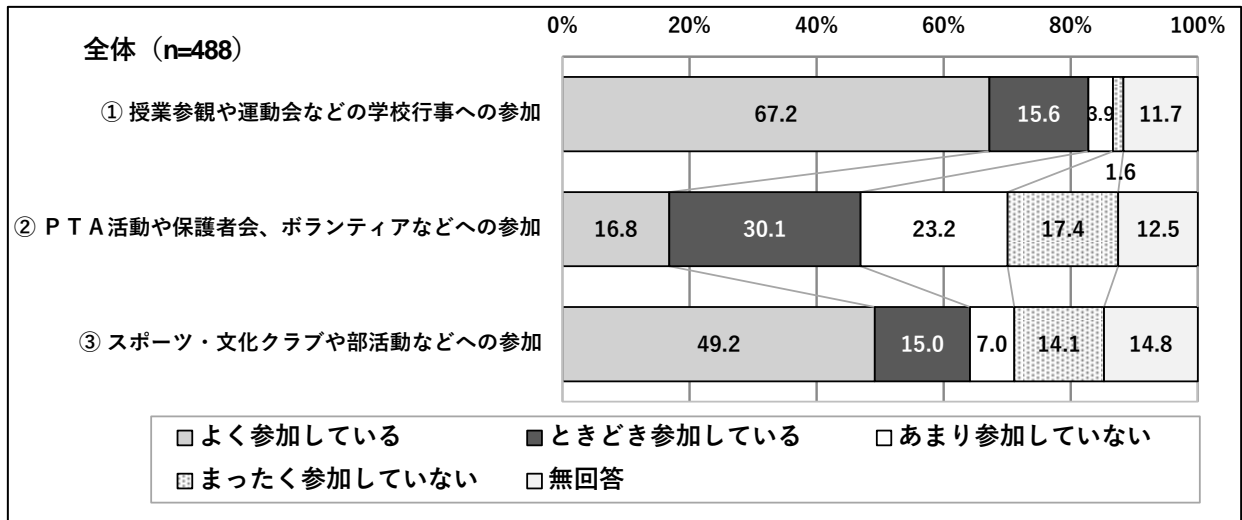
(①,②,③それぞれについて、あてはまるもの1つを選択)

### 結果概要

「授業参観や運動会などの学校行事への参加」について、「よく参加している」の割合が最も高い。

学校行事などへの参加程度については、以下のとおりとなっています。

### ■ 学校などへの参加程度 (全体) ■



## (15) 子どもの将来の進学先

問 15 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(あてはまるもの1つを選択)

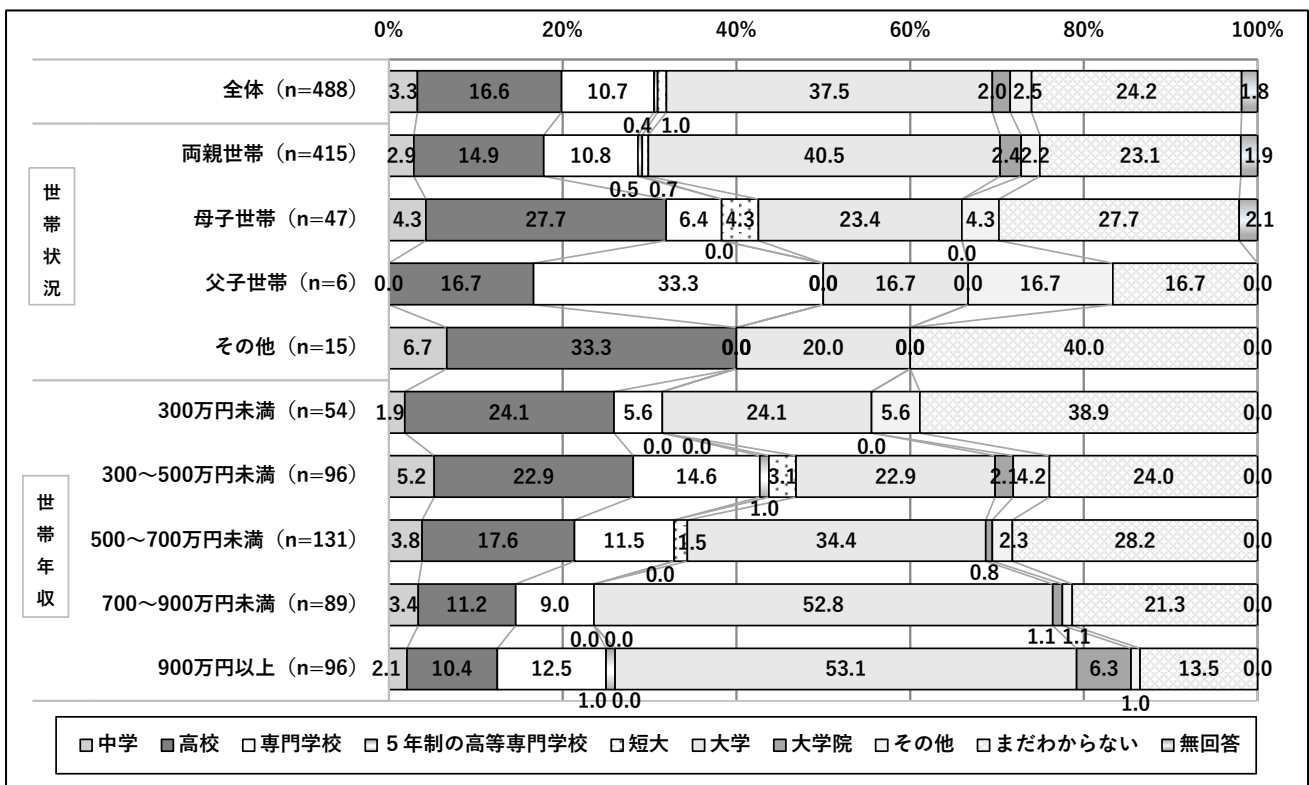
### 結果概要

**「大学」が4割弱を占める。**

子どもの将来の進学先については、「大学」(37.5%)が最も多く、以下「高校」(16.6%)、「専門学校」(10.7%)、「中学」(3.3%)、「大学院」(2.0%)、「短大」(1.0%)、「5年制の高等専門学校」(0.4%)となっています。なお、「まだわからない」は24.2%となっています。

世帯状況別でみると、両親世帯では、「大学」の割合が約4割を占め、他の世帯より高くなっています。

■ 子どもの将来の進学先 (世帯状況・世帯年収) ■



## (16) 進学先の志望動機

問 16 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

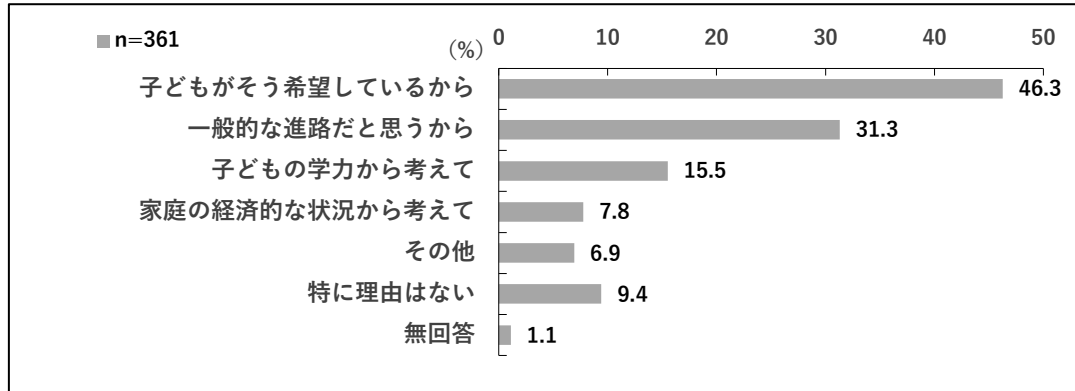
(1～5については、あてはまるものすべてを選択)

### 結果概要

**「子どもがそう希望しているから」が第1位となっている。**

進学先の志望動機については、「子どもがそう希望しているから」(46.3%)が第1位、次いで「一般的な進路だと思うから」(31.3%)、「子どもの学力から考えて」(15.5%)、「家庭の経済的な状況から考えて」(7.8%)などの順となっています。なお、「特に理由はない」は9.4%となっています。

### ■ 進学先の志望動機 (全体) ■



### ■ 進学先の志望動機 (世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け) ■

	合計	問16 進学先の志望動機							非該当	
		子どもが そう希望 している から	一般的 な進路だ と思う から	子ども の学力 から考 えて	家庭の 経済的 な状況 から考 えて	その他	特に理 由はな い	無回答		
全体	361 100.0%	167 46.3%	113 31.3%	56 15.5%	28 7.8%	25 6.9%	34 9.4%	4 1.1%	127	
世帯状況	両親世帯	318 100.0%	145 45.6%	101 31.8%	51 16.0%	25 7.9%	22 6.9%	27 8.5%	4 1.3%	108
	母子世帯	33 100.0%	17 51.5%	10 30.3%	4 12.1%	3 9.1%	3 9.1%	5 15.2%	0 0.0%	14
	父子世帯	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 40.0%	2 0.0%	1
	その他	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2
世帯年収	300万円未満	33 100.0%	19 57.6%	9 27.3%	3 9.1%	2 6.1%	5 15.2%	4 12.1%	0 0.0%	21
	300～500万円未満	73 100.0%	26 35.6%	21 28.8%	10 13.7%	8 11.0%	7 9.6%	8 11.0%	3 4.1%	23
	500～700万円未満	94 100.0%	42 44.7%	30 31.9%	17 18.1%	6 6.4%	8 8.5%	7 7.4%	0 0.0%	37
	700～900万円未満	70 100.0%	33 47.1%	25 35.7%	9 12.9%	3 4.3%	2 2.9%	8 11.4%	0 0.0%	19
	900万円以上	83 100.0%	46 55.4%	25 30.1%	17 20.5%	9 10.8%	3 3.6%	4 4.8%	0 0.0%	13

## (17) 頼れる人の有無

問 17 あなたは次に挙げる事柄(ことがら)で頼れる人はいますか。((1)~(3)それぞれについて、1~3のあてはまるもの1つを選択)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①~⑦のあてはまるものすべてに○))



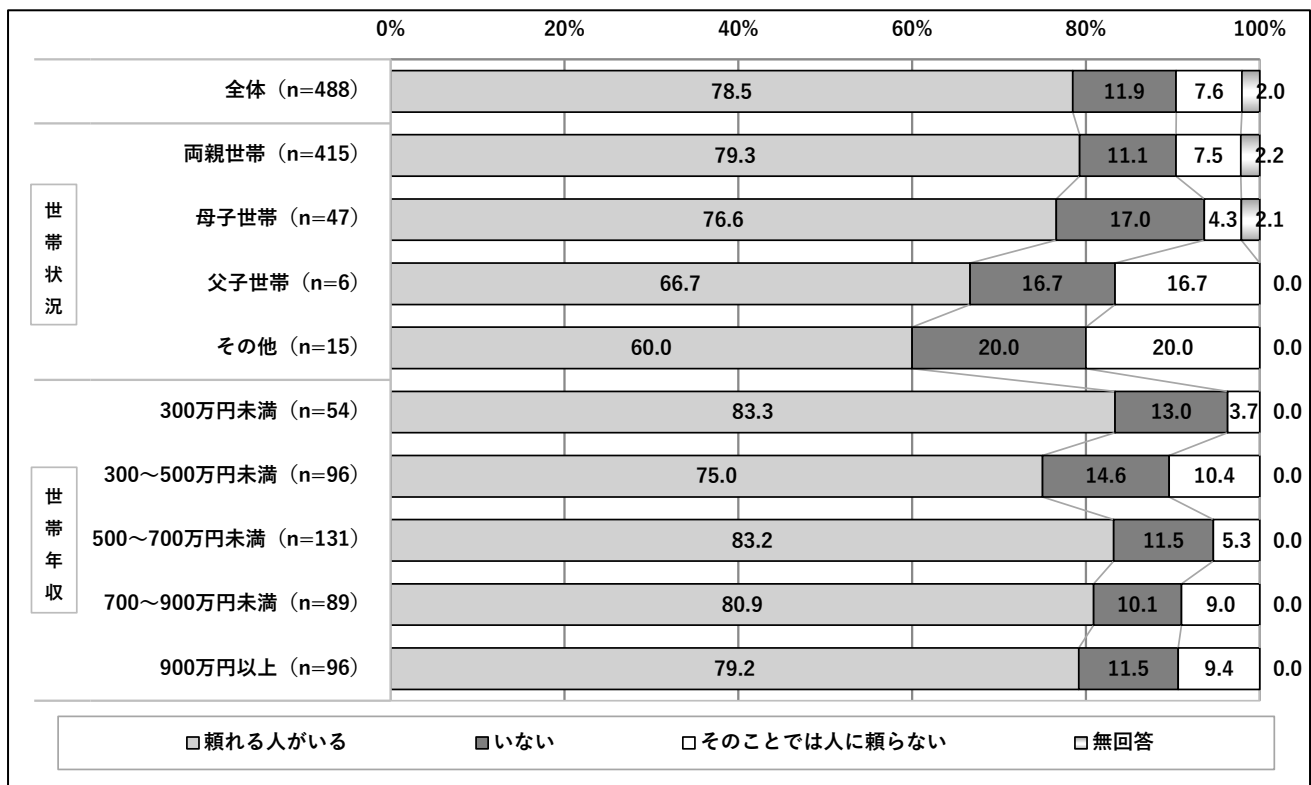
### 結果概要

「頼れる人がいる」の割合は、「子育てに関する相談相手」は8割弱、「重要な事柄の相談相手」は約9割、「いざという時の金の援助の相手」では、5割台半ばを占めている。また、頼れる相談相手は、「家族・親族」が第1位となっている。

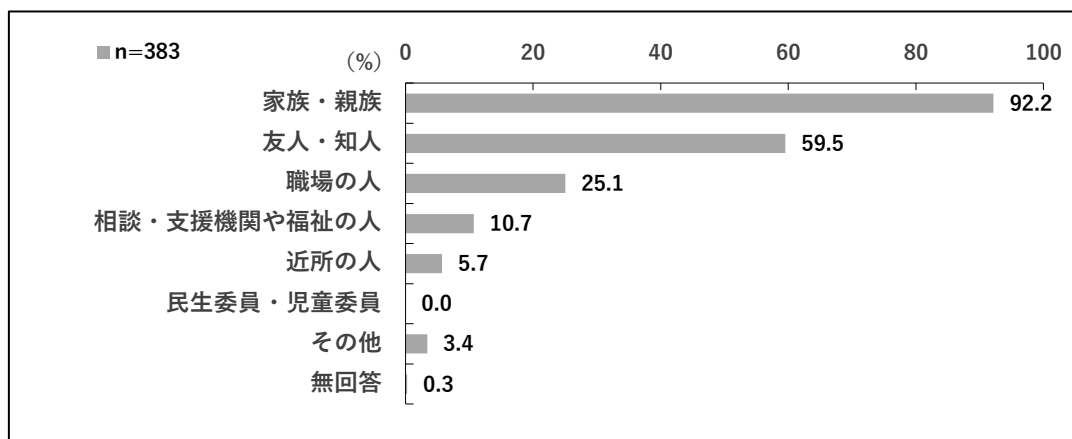
### (1) 子育てに関する相談相手

子育てに関する相談相手については、「頼れる人がいる」(78.5%)、「いない」(11.9%)、「そのことでは人に頼らない」(7.6%)となっています。また、頼れる相談相手は「家族・親族」が第1位となっています。

■ 子育てに関する相談相手 (世帯状況・世帯年収) ■



■ 子育てに関する相談相手（全体） ■



■ 子育てに関する相談相手（世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け） ■

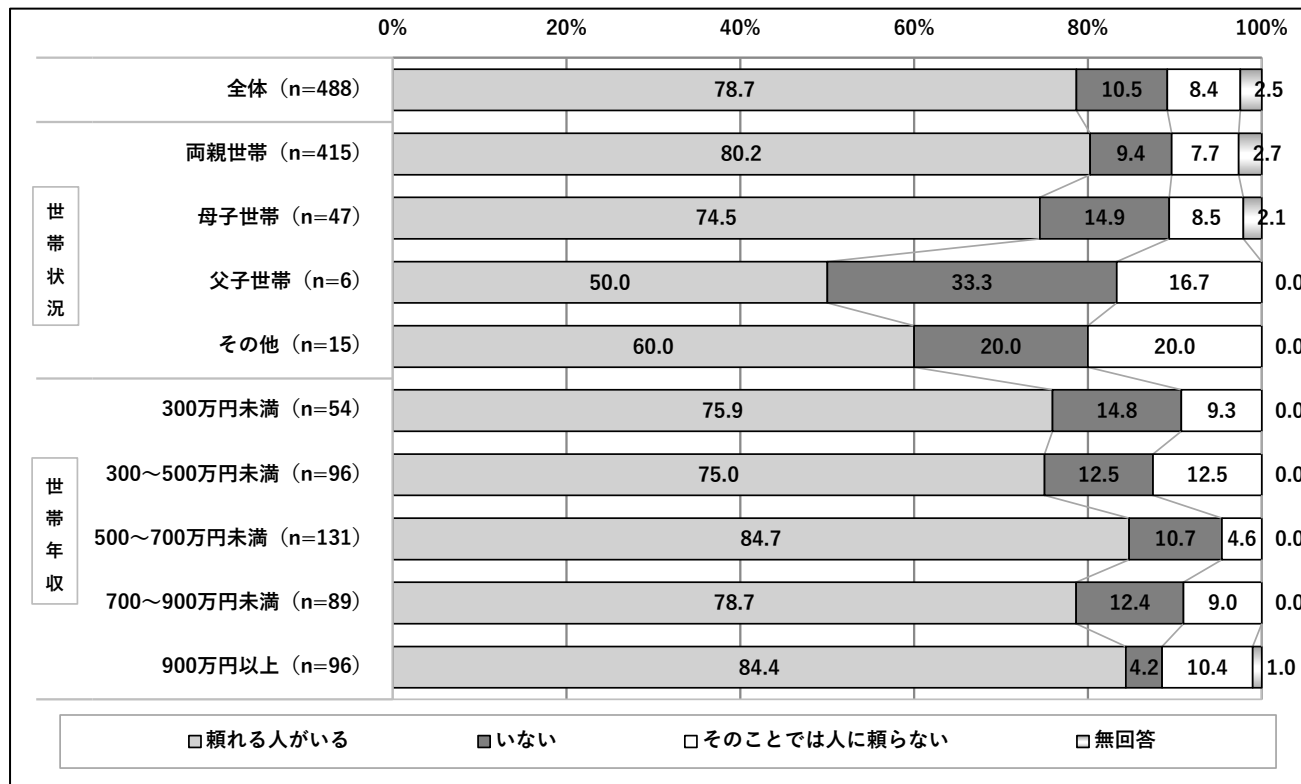
	合計	問17 (1) 子育てに関する相談相手									
		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答	非該当	
全体	383 100.0%	353 92.2%	228 59.5%	22 5.7%	96 25.1%	0 0.0%	41 10.7%	13 3.4%	1 0.3%	105	
世帯状況	両親世帯	335 100.0%	308 91.9%	203 60.6%	20 6.0%	85 25.4%	0 0.0%	35 10.4%	8 2.4%	1 0.3%	91
	母子世帯	36 100.0%	34 94.4%	18 50.0%	2 5.6%	9 25.0%	0 0.0%	6 16.7%	5 13.9%	0 0.0%	11
	父子世帯	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2
	その他	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
世帯年収	300万円未満	45 100.0%	40 88.9%	27 60.0%	4 8.9%	13 28.9%	0 0.0%	8 17.8%	6 13.3%	0 0.0%	9
	300～500万円未満	72 100.0%	69 95.8%	50 69.4%	3 4.2%	18 25.0%	0 0.0%	11 15.3%	2 2.8%	0 0.0%	24
	500～700万円未満	109 100.0%	102 93.6%	60 55.0%	3 2.8%	23 21.1%	0 0.0%	7 6.4%	2 1.8%	0 0.0%	22
	700～900万円未満	72 100.0%	64 88.9%	46 63.9%	5 6.9%	19 26.4%	0 0.0%	5 6.9%	1 1.4%	0 0.0%	17
	900万円以上	76 100.0%	71 93.4%	42 55.3%	7 9.2%	22 28.9%	0 0.0%	9 11.8%	2 2.6%	0 0.0%	20

(2) 重要な事柄の相談相手

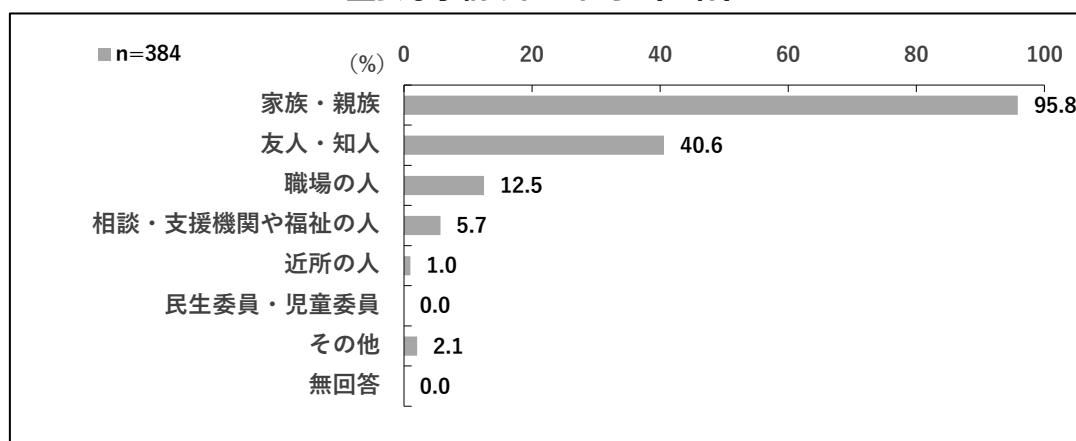
重要な事柄の相談相手については、「頼れる人がいる」(78.7%)、「いない」(10.5%)、「そのことでは人に頼らない」(2.5%)となっています。

また、頼れる相談相手は、「家族・親族」が第1位となっています。

■ 重要な事柄の相談相手（世帯状況・世帯年収） ■



■ 重要な事柄の相談相手（全体） ■



■ 重要な事柄の相談相手（世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け） ■

	合計	問17 (2) 重要な事柄の相談相手								
		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答	非該当
全体	384 100.0%	368 95.8%	156 40.6%	4 1.0%	48 12.5%	0 0.0%	22 5.7%	8 2.1%	0 0.0%	104
世帯状況	母子世帯	35 100.0%	33 94.3%	14 40.0%	0 0.0%	6 17.1%	0 0.0%	3 8.6%	0 0.0%	12
	父子世帯	3 100.0%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3
	その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3
	世帯年収	30万円未満	41 100.0%	38 92.7%	20 48.8%	0 0.0%	6 14.6%	0 0.0%	4 9.8%	1 2.4%
	300～500万円未満	72 100.0%	70 97.2%	28 38.9%	0 0.0%	10 13.9%	0 0.0%	5 6.9%	2 2.8%	24
	500～700万円未満	111 100.0%	107 96.4%	44 39.6%	0 0.0%	9 8.1%	0 0.0%	4 3.6%	2 1.8%	20
	700～900万円未満	70 100.0%	67 95.7%	30 42.9%	1 1.4%	10 14.3%	0 0.0%	4 5.7%	2 2.9%	19
	900万円以上	81 100.0%	77 95.1%	33 40.7%	3 3.7%	12 14.8%	0 0.0%	4 4.9%	1 1.2%	15

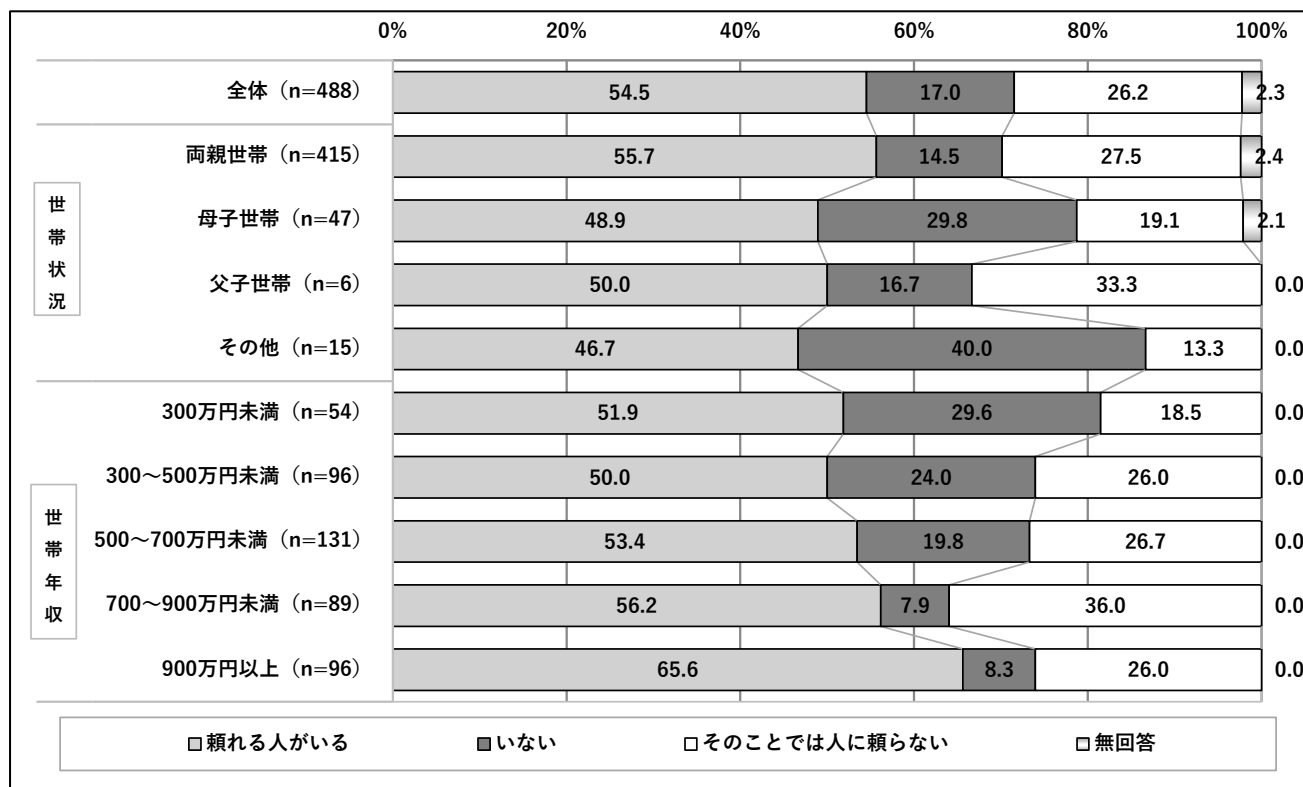
### (3) いざという時のお金の援助の相手

いざという時のお金の援助の相手については、「頼れる人がいる」(54.5%)が最も多く、以下「そのことでは人に頼らない」(26.2%)、「いない」(17.0%)となっています。

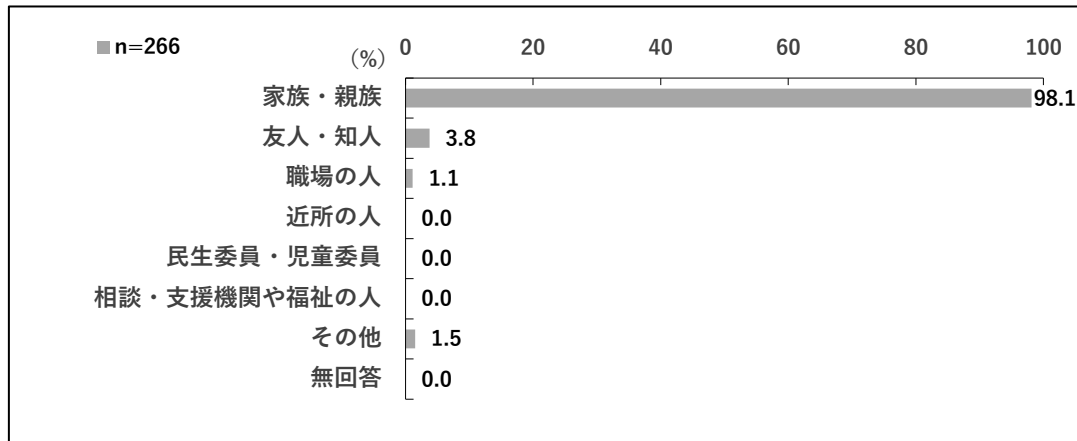
また、頼れる援助の相手は、「家族・親族」が第1位となっています。

世帯年収別で見ると、概ね世帯年収が低くなるにつれて「いない」の割合が高くなる傾向がみられます。

■ いざという時のお金の援助の相手 (世帯状況・世帯年収) ■



■ いざという時のお金の援助の相手（全体） ■



■ いざという時のお金の援助の相手（世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問17 (3) いざという時のお金の援助の相手							無回答	非該当
			家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他		
全体		266 100.0%	261 98.1%	10 3.8%	0 0.0%	3 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.5%	0 0.0%	222
世帯状況	両親世帯	236 100.0%	232 98.3%	9 3.8%	0 0.0%	2 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.3%	0 0.0%	190
	母子世帯	23 100.0%	22 95.7%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	24
	父子世帯	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3
	その他	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2
	世帯年収	300万円未満	28 100.0%	26 92.9%	2 7.1%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.1%	0 0.0%
	300～500万円未満	48 100.0%	47 97.9%	2 4.2%	0 0.0%	2 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	48
	500～700万円未満	70 100.0%	69 98.6%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	61
	700～900万円未満	50 100.0%	50 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	39
	900万円以上	63 100.0%	62 98.4%	5 7.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%	33

## (18) 現在の暮らしの状況

問 18 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つを選択)

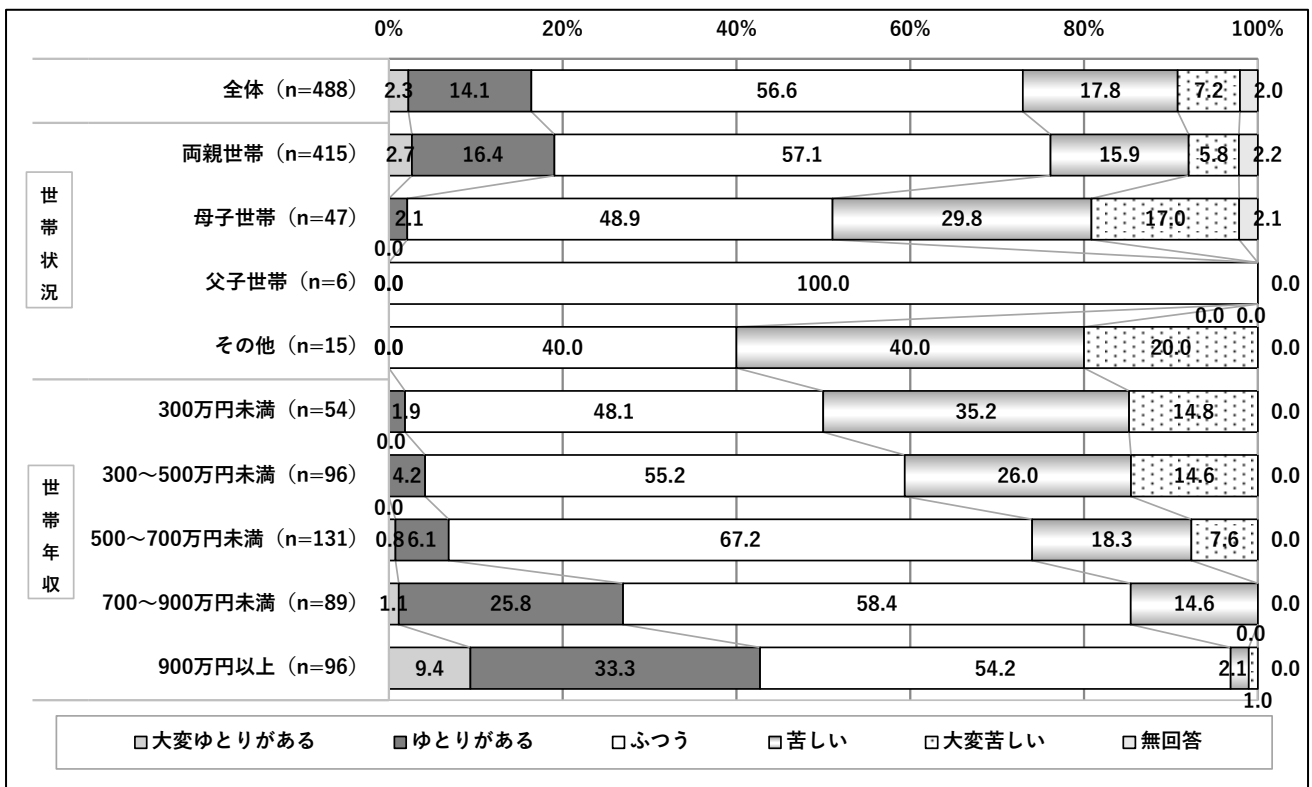
### 結果概要

「ふつう」が6割弱を占める。

現在の暮らしの状況については、「ふつう」(56.6%)が最も多く、以下「苦しい」(17.8%)、「ゆとりがある」(14.1%)、「大変苦しい」(7.2%)、「大変ゆとりがある」(2.3%)となっています。

世帯状況別でみると、母子世帯では“苦しい”(「苦しい」、「大変苦しい」の合計)の割合が5割弱を占め、他の世帯より高くなっています。

■ 現在の暮らしの状況 (世帯状況・世帯年収) ■



## (19) 苦しいと思う理由

問 19 前問で「4 苦しい」または「5 大変苦しい」と答えた場合、そのように感じる主な理由は何ですか。  
(自由記述)



苦しいと思う理由については、以下のとおりとなっています。(全文は別紙参照)

### 抜粋※原文のまま

主人が働いていないが、かかる費用はたくさんあるため。  
毎月の給料や、2ヶ月に一回の児童扶養手当など収入はあるが、すぐく余裕がある訳ではない。  
父親が金銭感覚無く酒やタバコに使いすぎていることが解ってなくお金の話をすると怒りだす。  
子供たちの成長に伴って生活費が上がったことや、成長にかかる養育費も上がっているため。  
お金がかかるから  
妻が育児と仕事の両立が難しく夫の私の収入のみのため  
金がない  
物価の上昇や教育費がかかるため。など  
母子家庭で収入も多くないし子供と一緒に時間も少ない  
自宅外で専門学校に通っている子どもがいる。その学費や生活費に年間 200 万はかかる。  
また年収により児童扶養手当が支給されない。  
養育費も貰えないため、生活に苦しい。  
旦那の奨学金の返済がまだある。  
子供の月々の給食費の負担が大さい。  
経済的問題。物価高や消費税率  
給与は上がらない。  
現状物価高等で生活が苦しい。  
また、夫婦どちらかが働けなくなった場合に金銭的に生活が不自由になるリスクが高い。  
普通に考えてみてください。稼いで稼いでどれだけ国に取られてるか。  
将来の社会保障と考えても本当に不安しかないのに国民の義務と言われ搾取され  
北海道では暖房費を始めとしたライフラインエネルギーの利用料金  
自動車が無いと生活すらままならない状況で  
様々な生きてるだけでこれだけ取られていて、楽だと思えますか？  
収入に対して経費がかかり過ぎる  
税金が高い種類が多すぎるし何でもかんでも取りすぎ

## (20) 世帯年収

問 20 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つを選択)

※令和6年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。単身赴任中の方も含めます。

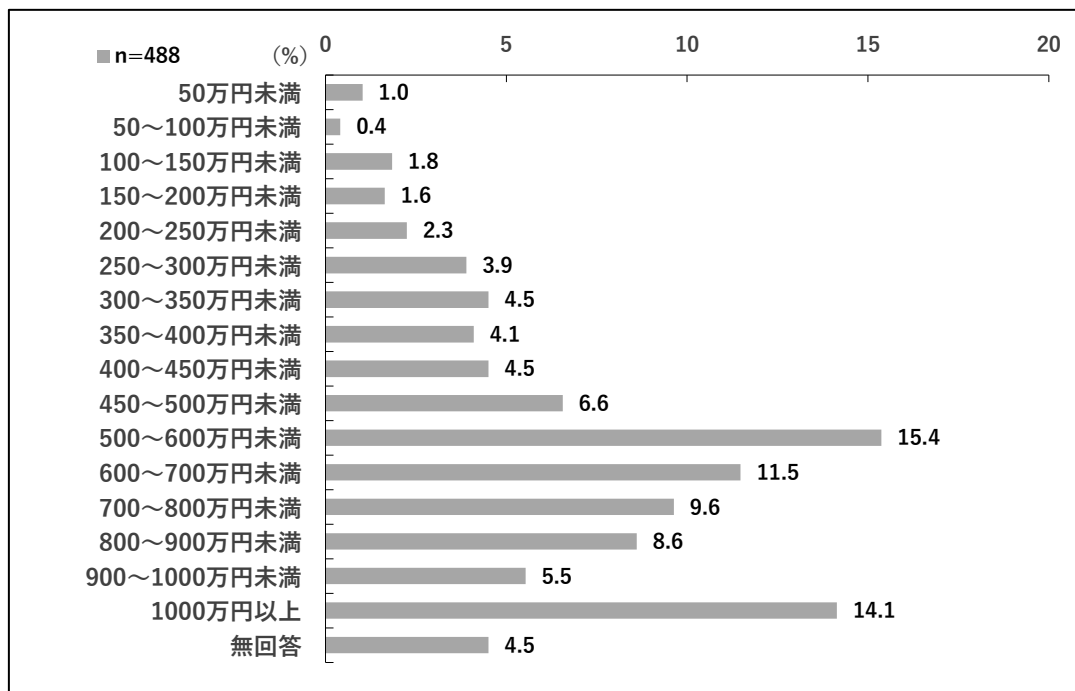
- ・勤め先収入（定期（月額）収入、賞与等）
- ・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
- ・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
- ・資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）
- ・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

### 結果概要

**「500～600万円未満」が1割台半ばを占め、最も多い。**

世帯年収については、「500～600万円未満」（15.4%）が最も多く、以下「1000万円以上」（14.1%）、「600～700万円未満」（11.5%）、「700～800万円未満」（9.6%）、「800～900万円未満」（8.6%）、「450～500万円未満」（6.6%）、「900～1000万円未満」（5.5%）、「300～350万円未満」・「400～450万円未満」（同率 4.5%）となっています。

### ■ 世帯年収（全体） ■



## (21) 過去1年間にお金が足りず必要とする食料が買えないこと

問 21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つを選択)

### 結果概要

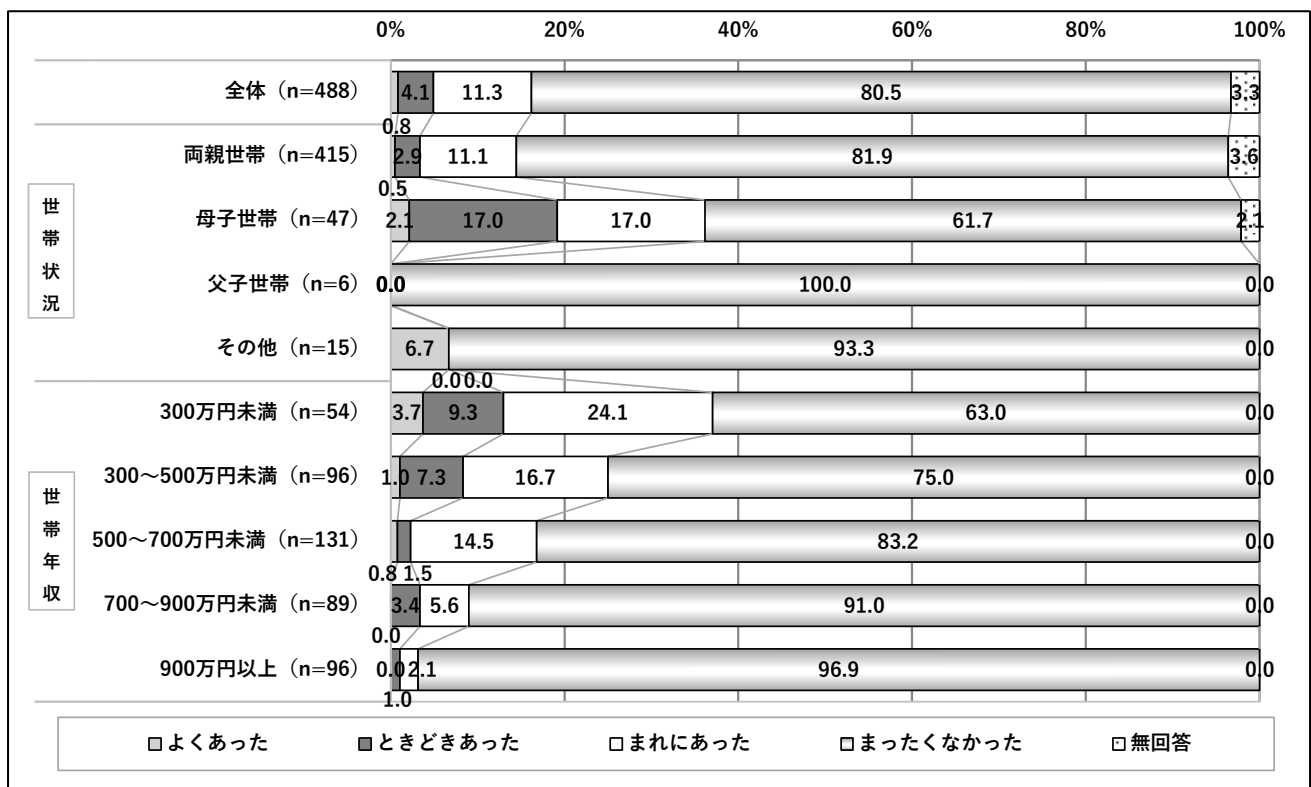
**「まったくなかった」が約8割を占める。**

過去1年間にお金が足りず必要とする食料が買えないことについては、「まったくなかった」(80.5%)が最も多く、以下「まれにあった」(11.3%)、「ときどきあった」(4.1%)、「よくあった」(0.8%)となっています。

世帯状況別でみると、母子世帯では“あった”(「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」の合計)の割合が4割弱を占め、他の世帯より高くなっています。

世帯年収別でみると、世帯年収が低くなるにつれて“あった”(「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」の合計)の割合が高くなる傾向がみられます。

■ 過去1年間にお金が足りず必要とする食料が買えないこと (世帯状況・世帯年収) ■



## (22) 過去1年間にお金が足りず必要とする衣服が買えないこと

問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（あてはまるもの1つを選択）

### 結果概要

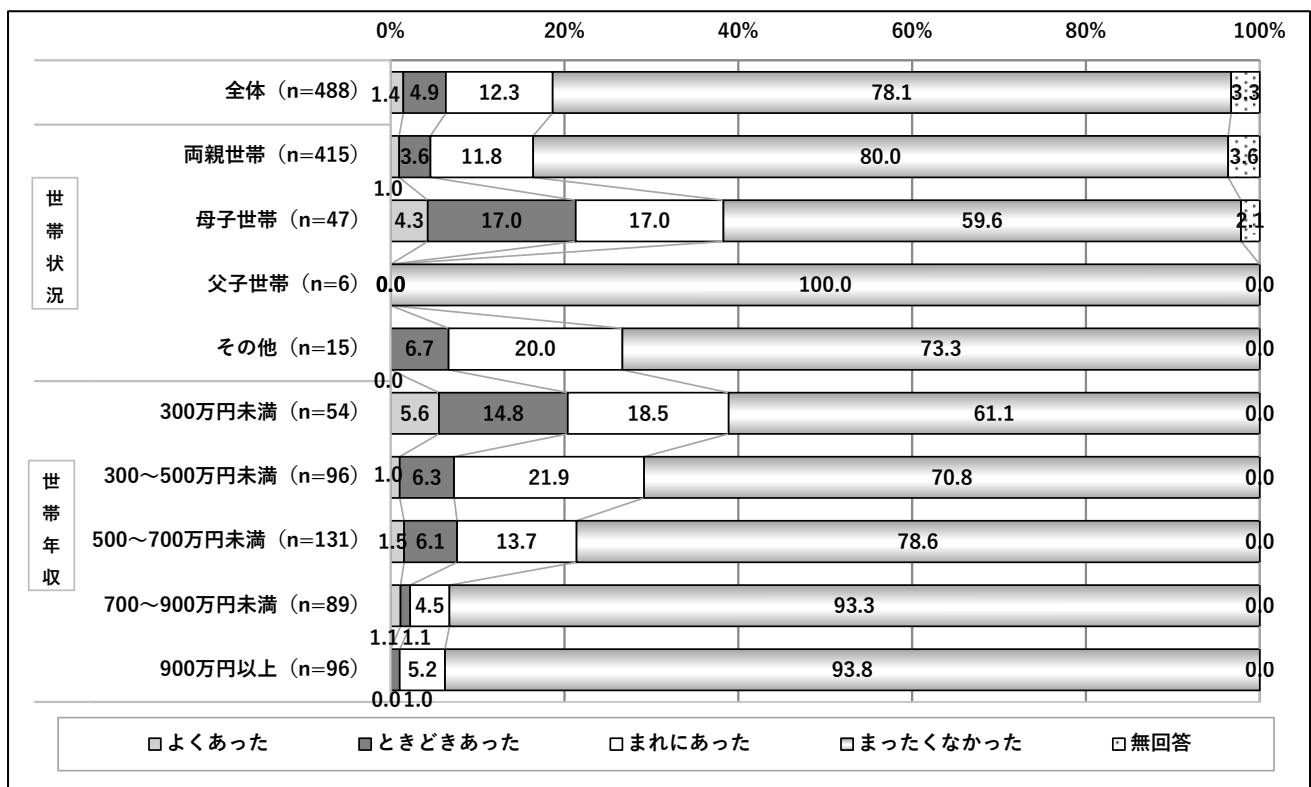
**「まったくなかった」が8割弱を占める。**

過去1年間にお金が足りず必要とする衣服が買えないことについては、「まったくなかった」（78.1%）が最も多く、以下「まれにあった」（12.3%）、「ときどきあった」（4.9%）、「よくあった」（1.4%）となっています。

世帯状況別でみると、母子世帯では“あった”（「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」の合計）の割合が4割弱を占め、他の世帯より高くなっています。

世帯年収別でみると、世帯年収が低くなるにつれて、“あった”（「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」の合計）の割合が高くなる傾向がみられます。

■ 過去1年間にお金が足りず必要とする衣服が買えないこと（世帯状況・世帯年収） ■



### (23) 過去1年間に経済的な理由で未払いになった公共料金等

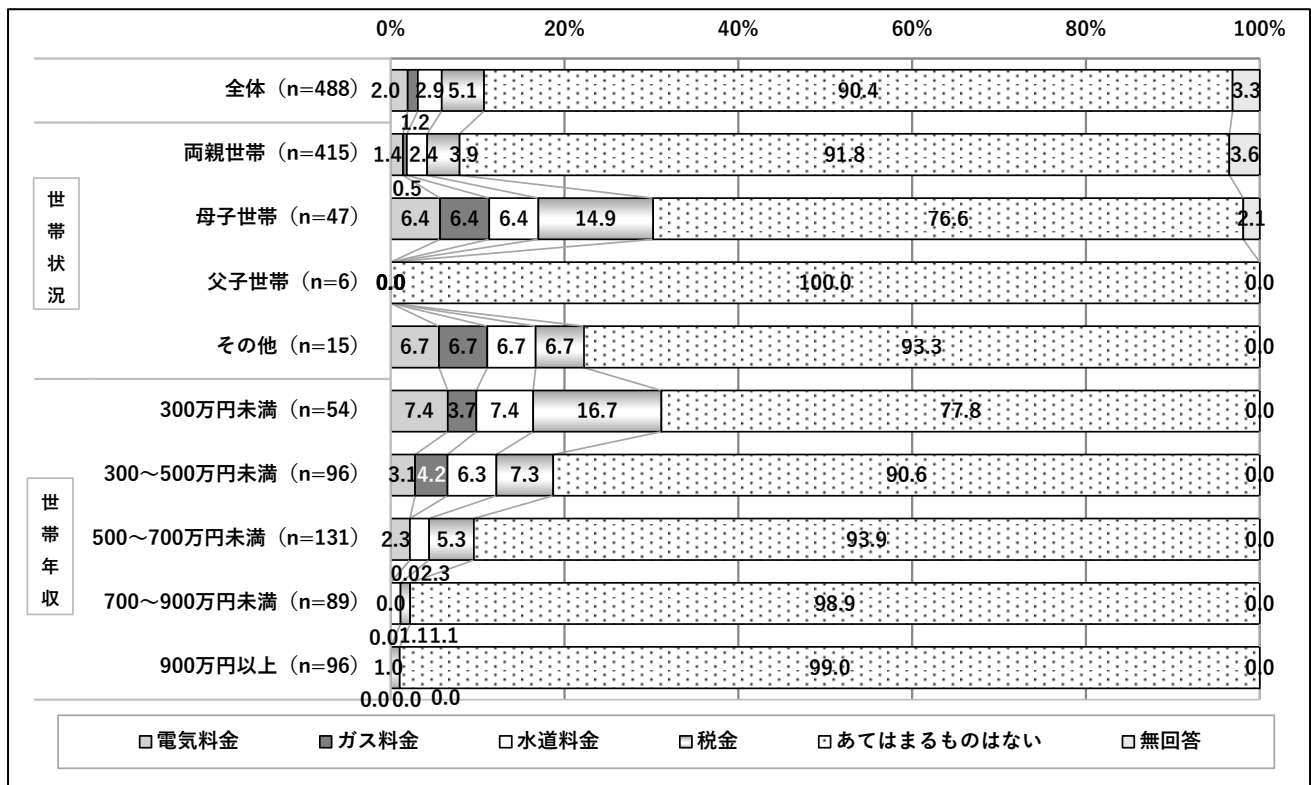
問 23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。（1～4については、あてはまるものすべてに○）

#### 結果概要

具体的には、「税金」が第1位となっている。なお、「あてはまるものはない」は約9割を占めている。

過去1年間に経済的な理由で未払いになった公共料金等については「税金」（5.1%）が最も多く、以下「水道料金」（2.9%）、「電気料金」（2.0%）、「ガス料金」（1.2%）となっています。  
 なお、「あてはまるものはない」は90.4%となっています。

■ 過去1年間に経済的な理由で未払いになった公共料金等（世帯状況・世帯年収） ■



## (24) この1か月間の保護者の気持ち

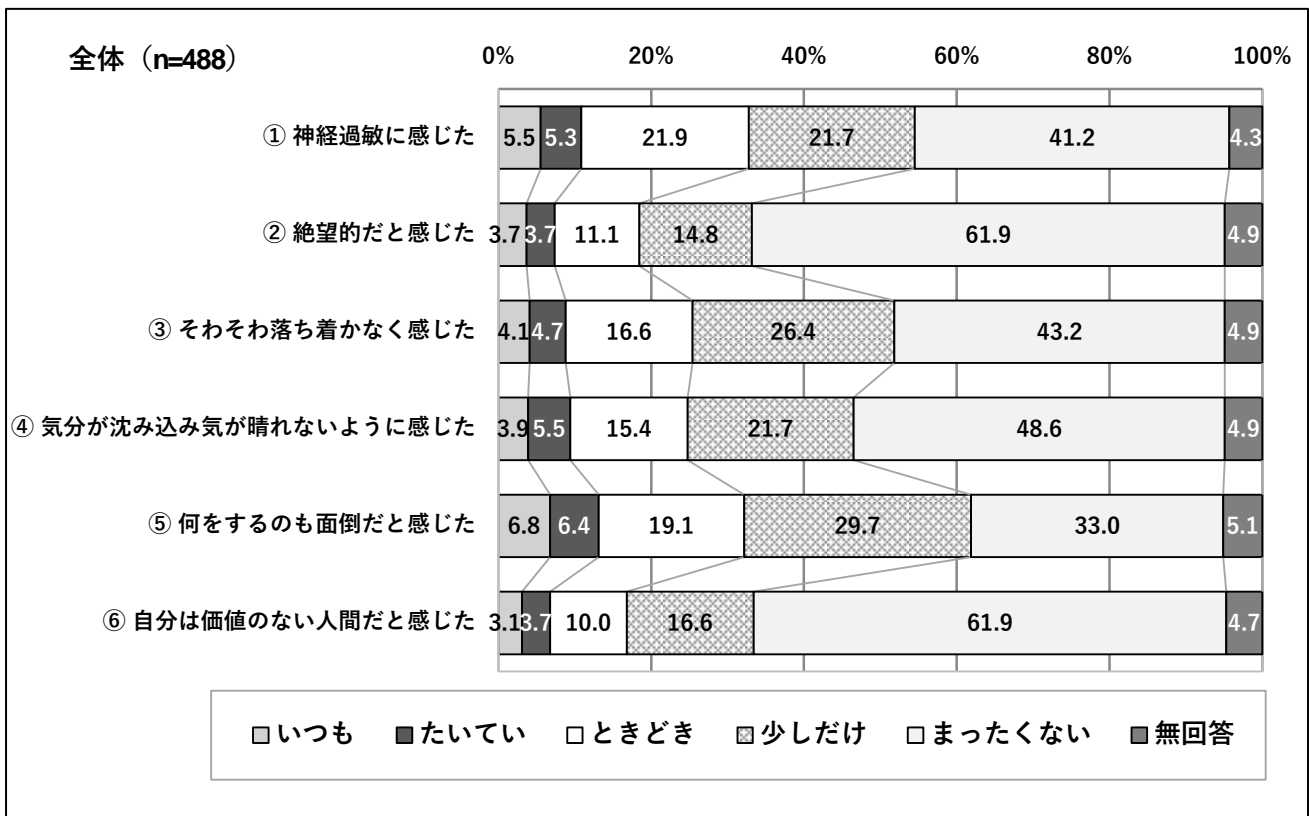
問 24 次の①～⑥の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(①～⑥それぞれについて、あてはまるもの1つを選択)

### 結果概要

総じて、「何をするのも面倒だと感じた」頻度が高い。

この1か月間の保護者の気持ちについては、以下のとおりとなっています。

### ■この1か月間の保護者の気持ち（全体）■



## (25) 最近の生活の満足度

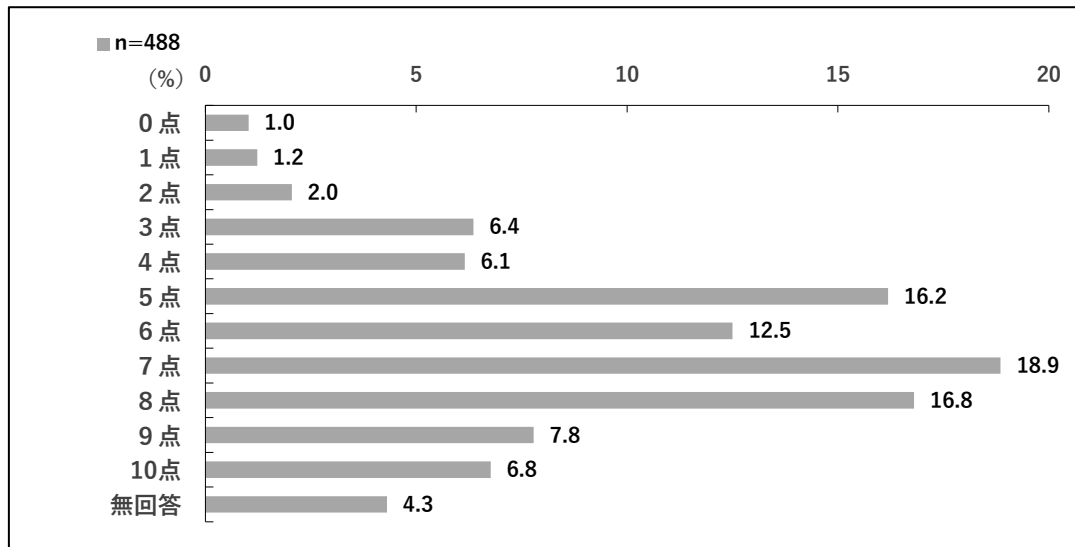
問 25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つを選択）

### 結果概要

**「7点」が2割弱を占める。**

最近の生活の満足度については、「7点」（18.9%）が最も多く、以下「8点」（16.8%）、「5点」（16.2%）、「6点」（12.5%）、「9点」（7.8%）、「10点」（6.8%）、「3点」（6.4%）、「4点」（6.1%）、「2点」（2.0%）、「1点」（1.2%）、「0点」（1.0%）となっています。

■ 最近の生活の満足度（全体） ■



■ 最近の生活の満足度（世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問25 最近の生活の満足度							
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点
全体		488 100.0%	5 1.0%	6 1.2%	10 2.0%	31 6.4%	30 6.1%	79 16.2%	61 12.5%	92 18.9%
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	5 1.2%	4 0.9%	6 1.4%	25 5.9%	22 5.2%	65 15.3%	53 12.4%	86 20.2%
	母子世帯	47 100.0%	0 0.0%	1 2.1%	3 6.4%	4 8.5%	7 14.9%	12 25.5%	7 14.9%	4 8.5%
	父子世帯	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
	その他	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
世帯年収	300万円未満	54 100.0%	0 0.0%	1 1.9%	2 3.7%	7 13.0%	8 14.8%	16 29.6%	6 11.1%	5 9.3%
	300～500万円未満	96 100.0%	2 2.1%	3 3.1%	5 5.2%	6 6.3%	7 7.3%	19 19.8%	15 15.6%	18 18.8%
	500～700万円未満	131 100.0%	3 2.3%	2 1.5%	2 1.5%	11 8.4%	7 5.3%	26 19.8%	18 13.7%	30 22.9%
	700～900万円未満	89 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.5%	3 3.4%	9 10.1%	13 14.6%	16 18.0%
	900万円以上	96 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.1%	4 4.2%	9 9.4%	9 9.4%	23 24.0%
		合計	問25							
			8点	9点	10点	無回答				
全体		488 100.0%	82 16.8%	38 7.8%	33 6.8%	21 4.3%				
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	80 18.8%	32 7.5%	30 7.0%	18 4.2%				
	母子世帯	47 100.0%	2 4.3%	3 6.4%	2 4.3%	2 4.3%				
	父子世帯	6 100.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%				
	その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
世帯年収	300万円未満	54 100.0%	4 7.4%	2 3.7%	2 3.7%	1 1.9%				
	300～500万円未満	96 100.0%	7 7.3%	10 10.4%	3 3.1%	1 1.0%				
	500～700万円未満	131 100.0%	21 16.0%	4 3.1%	6 4.6%	1 0.8%				
	700～900万円未満	89 100.0%	25 28.1%	12 13.5%	6 6.7%	1 1.1%				
	900万円以上	96 100.0%	24 25.0%	9 9.4%	15 15.6%	0 0.0%				

## (26) 支援制度の利用経験

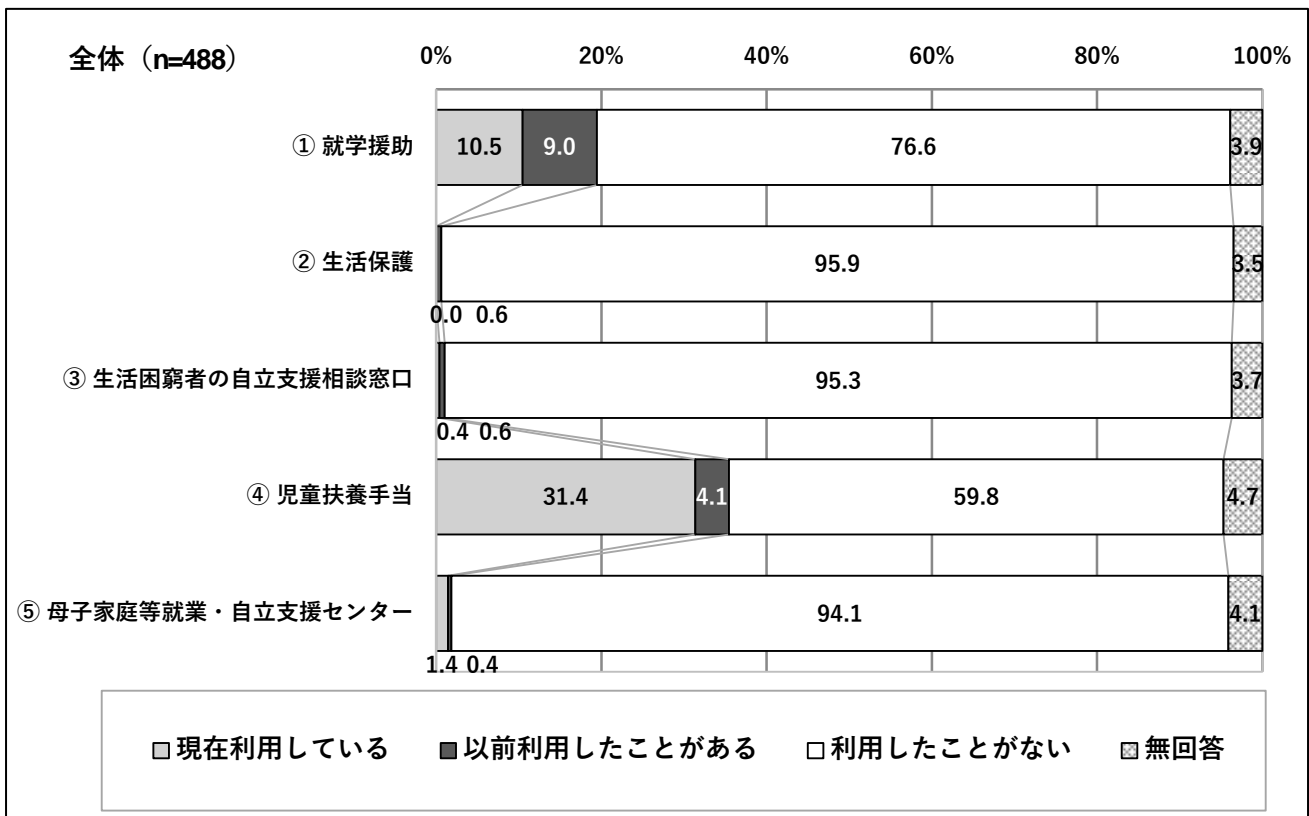
問 26 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(①～⑤それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つを選択)

### 結果概要

「児童扶養手当」を現在利用している割合が高い。

支援制度の利用経験については、以下のとおりとなっています。

■ 支援制度の利用経験 (全体) ■



## (27) 利用したことがない理由

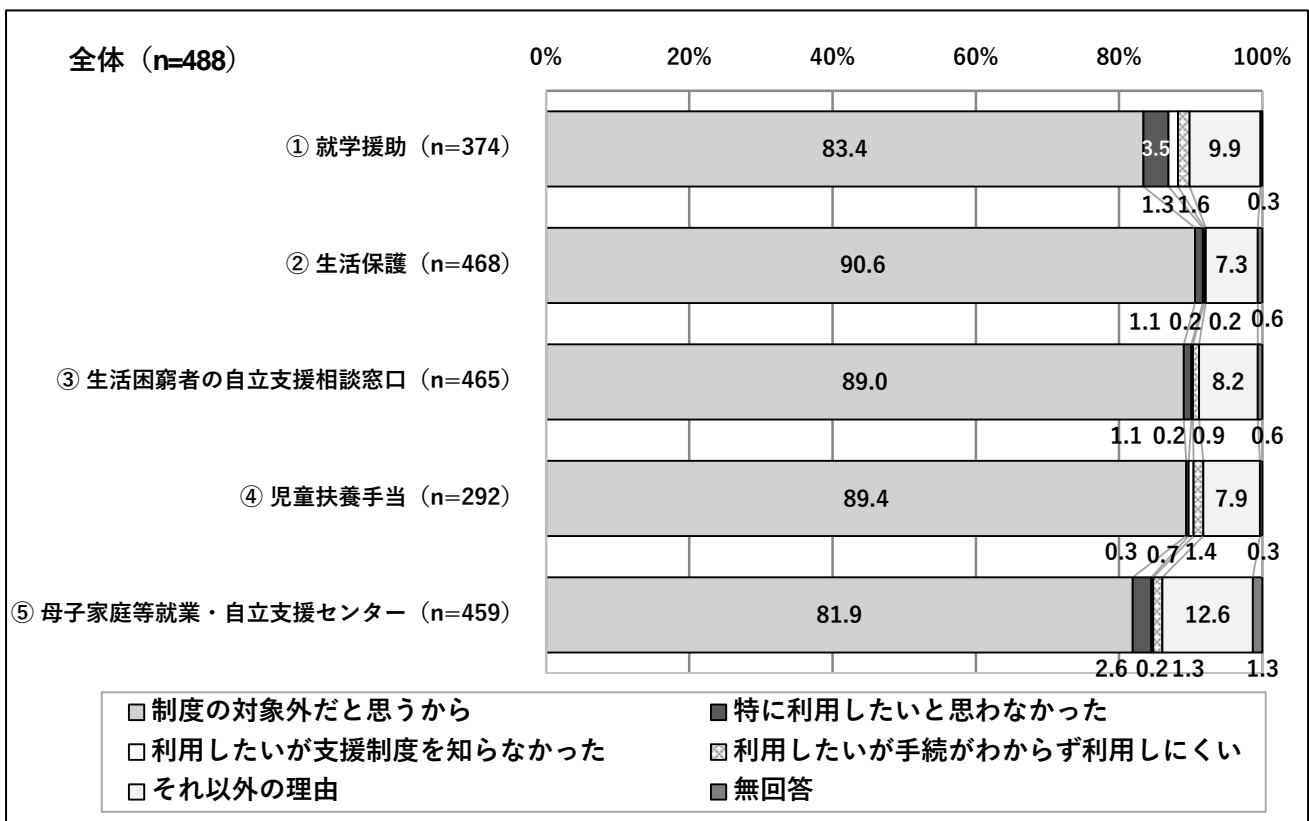
また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまるもの1つを選択)

### 結果概要

すべての制度で、「制度の対象外だと思うから」が8割以上を占める。

利用したことがない理由については、以下のとおりとなっています。

### ■ 利用したことがない理由 (全体) ■



## (28) 子どもにとっての安心する居場所

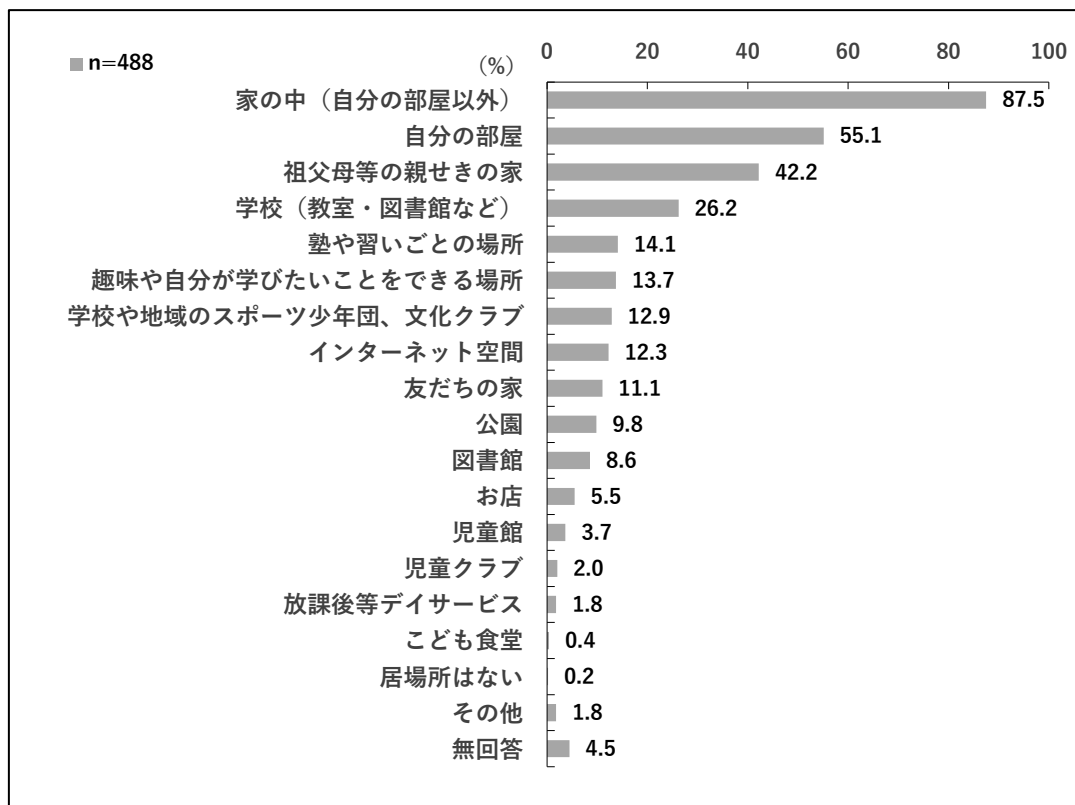
問 27 お子さんにとって、安心してすごせる居場所はどこだと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

### 結果概要

「家の中（自分の部屋以外）」が第1位となっている。

子どもにとっての安心する居場所については、「家の中（自分の部屋以外）」（87.5%）が第1位、次いで「自分の部屋」（55.1%）、「祖父母等の親せきの家」（42.2%）、「学校（教室・図書館など）」（26.2%）、「塾や習いごとの場所」（14.1%）、「趣味や自分が学びたいことをできる場所」（13.7%）、「学校や地域のスポーツ少年団、文化クラブ」（12.9%）、「インターネット空間」（12.3%）、「友だちの家」（11.1%）などの順となっています。

■ 子どもにとっての安心する居場所（全体） ■



■子どもにとっての安心する居場所（世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け）■

		合計	問27 子どもにとっての安心する居場所									
			自分の部屋	家の中 (自分の部屋以外)	祖父母等の親せきの家	友だちの家	学校(教室・図書館など)	児童クラブ	放課後等 デイサービス	学校や地域のスポーツ少年団、文化クラブ	塾や習いごとの場所	児童館
全体		488 100.0%	269 55.1%	427 87.5%	206 42.2%	54 11.1%	128 26.2%	10 2.0%	9 1.8%	63 12.9%	69 14.1%	18 3.7%
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	231 54.2%	371 87.1%	187 43.9%	50 11.7%	118 27.7%	9 2.1%	9 2.1%	57 13.4%	62 14.6%	18 4.2%
	母子世帯	47 100.0%	32 68.1%	42 89.4%	16 34.0%	4 8.5%	10 21.3%	1 2.1%	0 0.0%	4 8.5%	7 14.9%	0 0.0%
	父子世帯	6 100.0%	2 33.3%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	4 100.0%	1 25.0%	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
世帯年収	300万円未満	54 100.0%	33 61.1%	50 92.6%	18 33.3%	5 9.3%	11 20.4%	1 1.9%	2 3.7%	5 9.3%	8 14.8%	0 0.0%
	300～500万円未満	96 100.0%	41 42.7%	85 88.5%	42 43.8%	11 11.5%	23 24.0%	2 2.1%	3 3.1%	10 10.4%	12 12.5%	7 7.3%
	500～700万円未満	131 100.0%	80 61.1%	119 90.8%	61 46.6%	13 9.9%	33 25.2%	3 2.3%	2 1.5%	20 15.3%	15 11.5%	6 4.6%
	700～900万円未満	89 100.0%	52 58.4%	82 92.1%	45 50.6%	17 19.1%	28 31.5%	2 2.2%	1 1.1%	9 10.1%	17 19.1%	3 3.4%
	900万円以上	96 100.0%	62 64.6%	88 91.7%	40 41.7%	8 8.3%	33 34.4%	2 2.1%	1 1.0%	19 19.8%	17 17.7%	2 2.1%
		合計	問27									
			こども食堂	図書館	公園	お店	趣味や自分が学びたいことをできる場所	インターネット空間	居場所は ない	その他	無回答	
全体		488 100.0%	2 0.4%	42 8.6%	48 9.8%	27 5.5%	67 13.7%	60 12.3%	1 0.2%	9 1.8%	22 4.5%	
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	0 0.0%	39 9.2%	43 10.1%	22 5.2%	54 12.7%	48 11.3%	1 0.2%	9 2.1%	21 4.9%	
	母子世帯	47 100.0%	1 2.1%	2 4.3%	4 8.5%	4 8.5%	11 23.4%	10 21.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	
	父子世帯	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
世帯年収	300万円未満	54 100.0%	2 3.7%	3 5.6%	3 5.6%	3 5.6%	11 20.4%	9 16.7%	0 0.0%	2 3.7%	1 1.9%	
	300～500万円未満	96 100.0%	0 0.0%	11 11.5%	13 13.5%	8 8.3%	12 12.5%	9 9.4%	1 1.0%	2 2.1%	2 2.1%	
	500～700万円未満	131 100.0%	0 0.0%	10 7.6%	11 8.4%	5 3.8%	21 16.0%	22 16.8%	0 0.0%	1 0.8%	1 0.8%	
	700～900万円未満	89 100.0%	0 0.0%	11 12.4%	12 13.5%	2 2.2%	10 11.2%	8 9.0%	0 0.0%	3 3.4%	0 0.0%	
	900万円以上	96 100.0%	0 0.0%	7 7.3%	9 9.4%	9 9.4%	13 13.5%	12 12.5%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	

## (29) あれば良いと思う居場所

問 27-1 お子さんにとって、どのような居場所があれば良いと思いますか。または、今ある居場所をもっと楽しく、過ごしやすくするために、改善したほうが良いと思うことや工夫したほうが良いと思うことはありますか。  
(自由記述)



あれば良いと思う居場所については、以下のとおりとなっています。(全文は別紙参照)

### 全件※原文のまま

安全に一人で過ごさずに済む場所の確保

児童保育は高学年からのいじめがあり安心して過ごせない

家以外で、夜 10 時頃まで集中して勉強できる自習室のようなところ。図書館は遅くまでやっていないので。

南富道の駅のような屋外型大型遊具施設。同程度の規模の屋内施設も。

市役所のキッズランドは小さい子が対象で、ある程度の年の子が勉強したりスポーツをしたり総合的に色々なことに取り組める場所。

今の環境がとても良い

親がガミガミ言わない。

公園が少なすぎて、子供たちが遊べる場所が少ないと思います。

季節問わず、体を動かせる、広い体育館施設がほしい。

家以外で友達と集まって勉強したり話したり出来る場所。

みんなが見守れる環境

犯罪や事故、災害の無い治安の良い場所

もっと自分のやりたい事を自由に自分のペースで

学ぶ事ができてそれが仕事につながっていくような自分に自信が持てる学びの場所があると良いなと思います。

学童保育が利用しやすい場所にあってほしい。

街中の公園が少なく小中高校生が 1 箇所に集中して危険があるため、空き土地を利用して整備してもらいたい。

文化会館跡地や富良野高校など。

自分の部屋が欲しいとのことで作成中

冬場に友達と自由に遊べる屋内のスポーツ施設

カードゲームができる場所

とにかく安心できる場所

不安のない安心して過ごせる楽しい場所。

気軽に行ける場所

学校の中に学童や放課後過ごせる場所があればいいと思う。

小学生が遊べる屋内がない。

発達障害のある子でも、周りを気にせず遊べる場所を作って欲しい。

創造力と想像力を延ばせる遊び場

冬でも室内で子供と過ごせる場所がもっと必要だと思う。

### (30) 「子どもの権利」についての認知度

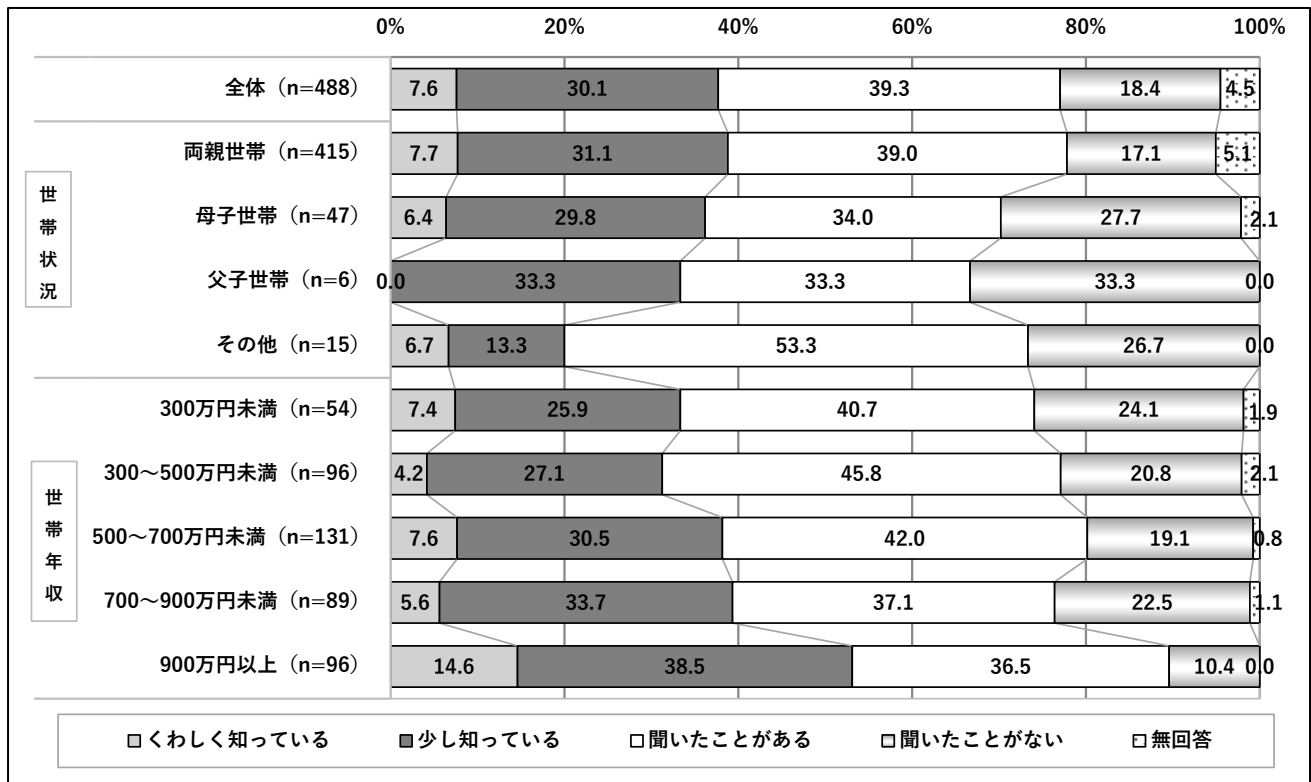
問 28 「子どもの権利」についてお聞きします。「子どもの権利」とは、子どもが大人と同じく、一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「子どもの権利」について知っていますか。（あてはまるもの1つを選択）

#### 結果概要

「聞いたことがある」が約4割を占める。

「子どもの権利」の認知度については、「聞いたことがある」（39.3%）が最も多く、以下「少し知っている」（30.1%）、「聞いたことがない」（18.4%）、「くわしく知っている」（7.6%）となっています。

■「子どもの権利」についての認知度（世帯状況・世帯年収）■



### (31) 関心があること

問 29 あなたは、次のことに関心がありますか。（あてはまるものすべてを選択）

#### 結果概要

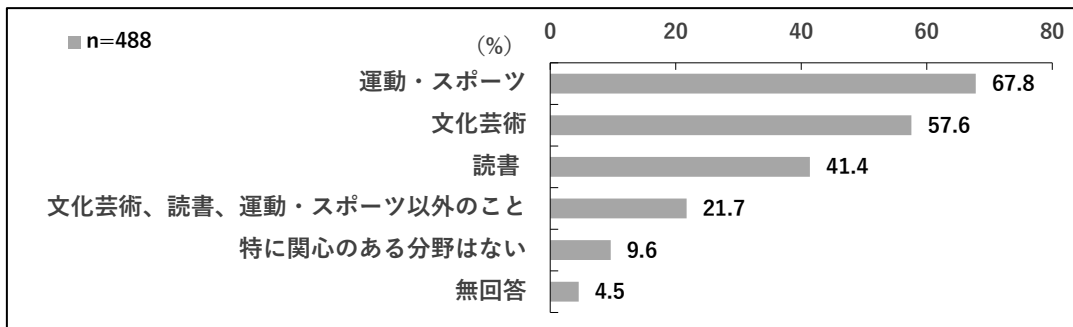
**「運動・スポーツ」が第1位となっている。**

関心があることについては、「運動・スポーツ」（67.8%）が第1位、次いで「文化芸術」（57.6%）、「読書」（41.4%）、「文化芸術、読書、運動・スポーツ以外のこと」（21.7%）の順となっています。

なお、「特に関心のある分野はない」は9.6%となっています。

世帯年収別でみると、300万円未満では「文化芸術」、300万円以上の層では「運動・スポーツ」が第1位となっています。

#### ■ 関心があること（全体） ■



#### ■ 関心があること（世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け） ■

	合計	問29 関心があること					
		文化芸術	読書	運動・スポーツ	文化芸術、読書、運動・スポーツ以外のこと	特に関心のある分野はない	無回答
全体	488	281	202	331	106	47	22
	100.0%	57.6%	41.4%	67.8%	21.7%	9.6%	4.5%
世帯状況							
両親世帯	426	245	179	297	93	37	20
	100.0%	57.5%	42.0%	69.7%	21.8%	8.7%	4.7%
母子世帯	47	30	20	28	12	5	2
	100.0%	63.8%	42.6%	59.6%	25.5%	10.6%	4.3%
父子世帯	6	3	2	2	1	1	0
	100.0%	50.0%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
その他	4	2	1	2	0	2	0
	100.0%	50.0%	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
世帯年収							
300万円未満	54	35	21	29	14	8	1
	100.0%	64.8%	38.9%	53.7%	25.9%	14.8%	1.9%
300～500万円未満	96	54	37	60	22	12	3
	100.0%	56.3%	38.5%	62.5%	22.9%	12.5%	3.1%
500～700万円未満	131	83	59	94	31	10	1
	100.0%	63.4%	45.0%	71.8%	23.7%	7.6%	0.8%
700～900万円未満	89	52	40	69	17	7	0
	100.0%	58.4%	44.9%	77.5%	19.1%	7.9%	0.0%
900万円以上	96	54	43	77	22	9	0
	100.0%	56.3%	44.8%	80.2%	22.9%	9.4%	0.0%

## (32) 子どもがやっている文化的な活動

問 30 あなたのお子さんは、学校の授業以外で美術や音楽、ダンスなどの文化的な活動をしていますか。  
(あてはまるものすべてを選択)

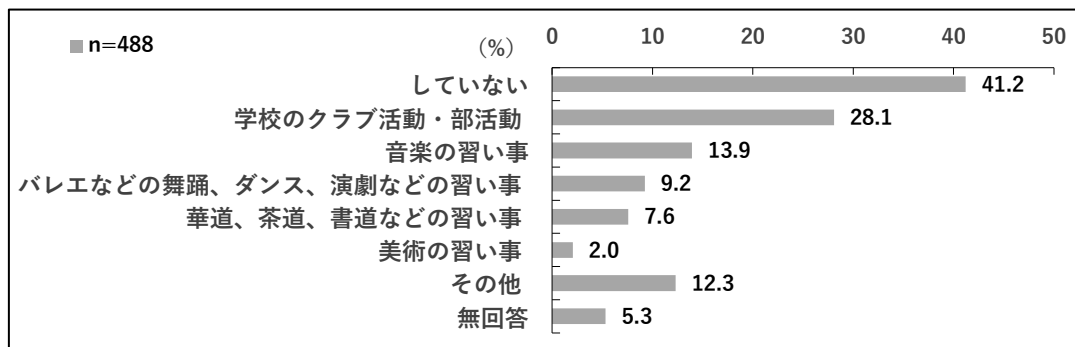
### 結果概要

「していない」が第1位となっている。

子どもがやっている文化的な活動については、「していない」(41.2%)が第1位、次いで「学校のクラブ活動・部活動」(28.1%)、「音楽の習い事」(13.9%)、「バレエなどの舞踊、ダンス、演劇などの習い事」(9.2%)、「華道、茶道、書道などの習い事」(7.6%)、「美術の習い事」(2.0%)となっています。

世帯年収別で見ると、700～900万円未満では「していない」、900万円以上の層では「学校のクラブ活動・部活動」が第1位となっています。

### ■ 子どもがやっている文化的な活動 (全体) ■



### ■ 子どもがやっている文化的な活動 (世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け) ■

	合計	問30 子どもがやっている文化的な活動								
		美術の習い事	音楽の習い事	バレエなどの舞踊、ダンス、演劇などの習い事	華道、茶道、書道などの習い事	学校のクラブ活動・部活動	その他	していない	無回答	
全体	488 100.0%	10 2.0%	68 13.9%	45 9.2%	37 7.6%	137 28.1%	60 12.3%	201 41.2%	26 5.3%	
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	8 1.9%	63 14.8%	42 9.9%	33 7.7%	115 27.0%	54 12.7%	171 40.1%	25 5.9%
	母子世帯	47 100.0%	2 4.3%	3 6.4%	2 4.3%	4 8.5%	19 40.4%	5 10.6%	20 42.6%	1 2.1%
	父子世帯	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%
	その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%
	世帯年収	300万円未満	54 100.0%	2 3.7%	3 5.6%	3 5.6%	6 11.1%	17 31.5%	4 7.4%	27 50.0%
	300～500万円未満	96 100.0%	1 1.0%	12 12.5%	10 10.4%	6 6.3%	21 21.9%	19 19.8%	42 43.8%	2 2.1%
	500～700万円未満	131 100.0%	3 2.3%	14 10.7%	16 12.2%	11 8.4%	39 29.8%	15 11.5%	53 40.5%	1 0.8%
	700～900万円未満	89 100.0%	2 2.2%	14 15.7%	6 6.7%	5 5.6%	22 24.7%	9 10.1%	40 44.9%	3 3.4%
	900万円以上	96 100.0%	2 2.1%	24 25.0%	10 10.4%	9 9.4%	38 39.6%	13 13.5%	36 37.5%	0 0.0%

### (33) 子どもが好きだったこと

問 31、32 の設問は、(この調査票をお持ち帰りいただいた) お子さんの小学校入学直前 1 年間の様子を振り返ってお答えください。

問 31 文化・読書・スポーツに関わる活動のうち、あなたのお子さんが好きなことは何でしたか。(あてはまるものすべてを選択)

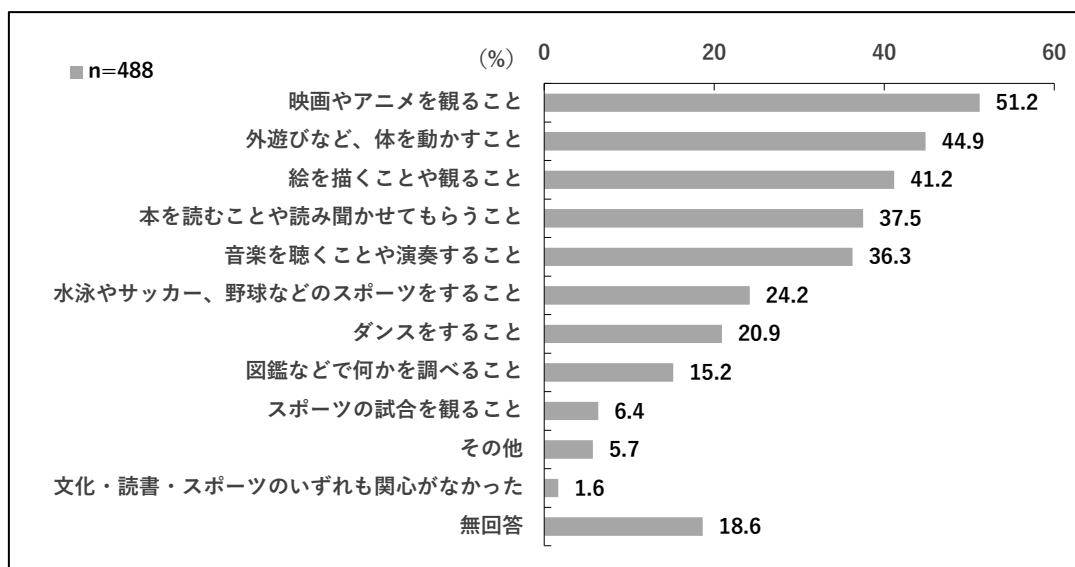
#### 結果概要

**「映画やアニメを観ること」が第 1 位となっている。**

子どもが好きだったことについては、「映画やアニメを観ること」(51.2%) が第 1 位、次いで「外遊びなど、体を動かすこと」(44.9%)、「絵を描くことや観ること」(41.2%)、「本を読むことや読み聞かせてもらうこと」(37.5%)、「音楽を聴くことや演奏すること」(36.3%)、「水泳やサッカー、野球などのスポーツをすること」(24.2%)、「ダンスをすること」(20.9%)、「図鑑などで何かを調べること」(15.2%) などの順となっています。

なお、「文化・読書・スポーツのいずれも関心がなかった」は 1.6%となっています。

#### ■ 子どもが好きだったこと (全体) ■



■ 子どもが好きだったこと（世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問31 子どもが好きだったこと							
			絵を描くことや観ること	音楽を聴くことや演奏すること	ダンスをすること	映画やアニメを観ること	本を読むことや読み聞かせること	図鑑などで何かを調べる	外遊びなど、体を動かすこと	水泳やサッカー、野球などのスポーツをすること
全体		488 100.0%	201 41.2%	177 36.3%	102 20.9%	250 51.2%	183 37.5%	74 15.2%	219 44.9%	118 24.2%
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	169 39.7%	150 35.2%	87 20.4%	219 51.4%	162 38.0%	66 15.5%	190 44.6%	109 25.6%
	母子世帯	47 100.0%	25 53.2%	19 40.4%	13 27.7%	23 48.9%	14 29.8%	7 14.9%	24 51.1%	8 17.0%
	父子世帯	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%
	その他	4 100.0%	2 50.0%	4 100.0%	0 0.0%	3 75.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
世帯年収	300万円未満	54 100.0%	28 51.9%	23 42.6%	13 24.1%	27 50.0%	20 37.0%	7 13.0%	26 48.1%	10 18.5%
	300～500万円未満	96 100.0%	42 43.8%	39 40.6%	22 22.9%	46 47.9%	34 35.4%	15 15.6%	39 40.6%	17 17.7%
	500～700万円未満	131 100.0%	55 42.0%	39 29.8%	29 22.1%	72 55.0%	50 38.2%	20 15.3%	59 45.0%	28 21.4%
	700～900万円未満	89 100.0%	40 44.9%	36 40.4%	16 18.0%	54 60.7%	34 38.2%	15 16.9%	47 52.8%	30 33.7%
	900万円以上	96 100.0%	34 35.4%	38 39.6%	22 22.9%	50 52.1%	44 45.8%	17 17.7%	47 49.0%	32 33.3%
		合計	問31							
			スポーツの試合を観ること	その他	文化・読書・スポーツのいずれも関心がなかった	無回答				
全体		488 100.0%	31 6.4%	28 5.7%	8 1.6%	91 18.6%				
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	30 7.0%	26 6.1%	7 1.6%	82 19.2%				
	母子世帯	47 100.0%	0 0.0%	2 4.3%	1 2.1%	7 14.9%				
	父子世帯	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%				
	その他	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				
世帯年収	300万円未満	54 100.0%	0 0.0%	3 5.6%	1 1.9%	10 18.5%				
	300～500万円未満	96 100.0%	3 3.1%	4 4.2%	2 2.1%	20 20.8%				
	500～700万円未満	131 100.0%	8 6.1%	10 7.6%	3 2.3%	19 14.5%				
	700～900万円未満	89 100.0%	9 10.1%	7 7.9%	0 0.0%	11 12.4%				
	900万円以上	96 100.0%	11 11.5%	4 4.2%	2 2.1%	11 11.5%				

### (34) 幼稚園・保育園での活動以外でさせていたこと

問 31、32 の設問は、(この調査票をお持ち帰りいただいた) お子さんの小学校入学直前 1 年間の様子を振り返ってお答えください。

問 32 あなたのお子さんには、幼稚園・保育園での活動以外で美術や音楽、次のことをさせていましたか。  
(あてはまるものすべてを選択)

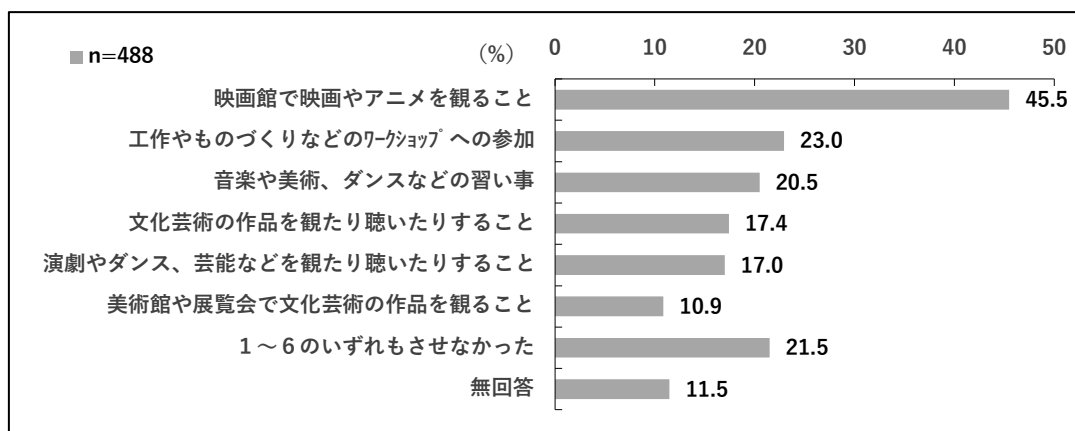
#### 結果概要

**「映画館で映画やアニメを観ること」が第 1 位となっている。**

幼稚園・保育園での活動以外でさせていたことについては、「映画館で映画やアニメを観ること」(45.5%) が第 1 位、次いで「工作やものづくりなどのワークショップへの参加」(23.0%)、「音楽や美術、ダンスなどの習い事」(20.5%)、「文化芸術の作品を観たり聴いたりすること」(17.4%)、「劇場などで演劇やダンス、芸能などを観たり聴いたりすること」(17.0%)、「美術館や展覧会で文化芸術の作品を観ること」(10.9%) の順となっています。

なお、「1～6のいずれもさせなかった」は 21.5%となっています。

#### ■ 幼稚園・保育園での活動以外でさせていたこと (全体) ■



■ 幼稚園・保育園での活動以外でさせていたこと（世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け） ■

		合計	問32 幼稚園・保育園での活動以外でさせていたこと							
			文化芸術の作品を観たり聴いたりすること	美術館や展覧会で文化芸術の作品を観ること	演劇やダンス、芸能などを観たり聴いたりすること	映画館で映画やアニメを観ること	音楽や美術、ダンスなどの習い事	工作やものづくりなどのワークショップへの参加	1～6のいずれもさせなかった	無回答
全体		488 100.0%	85 17.4%	53 10.9%	83 17.0%	222 45.5%	100 20.5%	112 23.0%	105 21.5%	56 11.5%
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	71 16.7%	47 11.0%	72 16.9%	192 45.1%	84 19.7%	95 22.3%	87 20.4%	53 12.4%
	母子世帯	47 100.0%	12 25.5%	6 12.8%	11 23.4%	23 48.9%	11 23.4%	12 25.5%	14 29.8%	3 6.4%
	父子世帯	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%
	その他	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%
世帯年収	300万円未満	54 100.0%	9 16.7%	7 13.0%	8 14.8%	22 40.7%	7 13.0%	14 25.9%	18 33.3%	3 5.6%
	300～500万円未満	96 100.0%	15 15.6%	7 7.3%	15 15.6%	44 45.8%	17 17.7%	20 20.8%	24 25.0%	11 11.5%
	500～700万円未満	131 100.0%	21 16.0%	13 9.9%	23 17.6%	59 45.0%	29 22.1%	29 22.1%	31 23.7%	9 6.9%
	700～900万円未満	89 100.0%	16 18.0%	12 13.5%	14 15.7%	46 51.7%	20 22.5%	25 28.1%	16 18.0%	11 12.4%
	900万円以上	96 100.0%	23 24.0%	14 14.6%	22 22.9%	49 51.0%	26 27.1%	24 25.0%	16 16.7%	4 4.2%

### (35) 市が特に取り組むべきこと

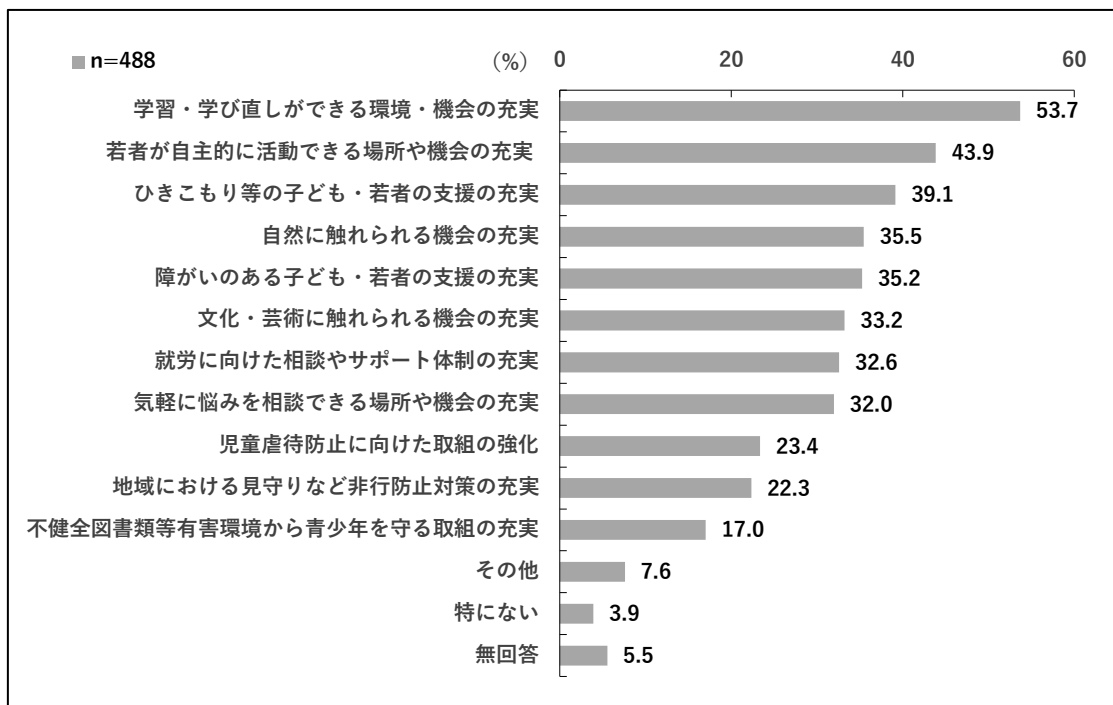
問 33 子どもや若者が希望をもてる富良野市となるために、富良野市が特に取り組むべきことは何だと思えますか。（あてはまるものすべてを選択）

#### 結果概要

**「学習・学び直しができる環境・機会の充実」が第1位となっている。**

市が特に取り組むべきことについては、「学習・学び直しができる環境・機会の充実」（53.7%）が第1位、次いで「若者が自主的に活動できる場所や機会の充実」（43.9%）、「ひきこもり等の子ども・若者の支援の充実」（39.1%）、「自然に触れられる機会の充実」（35.5%）、「障がいのある子ども・若者の支援の充実」（35.2%）、「文化・芸術に触れられる機会の充実」（33.2%）、「就労に向けた相談やサポート体制の充実」（32.6%）、「気軽に悩みを相談できる場所や機会の充実」（32.0%）、「児童虐待防止に向けた取組の強化」（23.4%）、「地域における見守りなど非行防止対策の充実」（22.3%）などの順となっています。

#### ■ 市が特に取り組むべきこと（全体） ■



■市が特に取り組むべきこと（世帯状況・世帯年収、一位の数値に網掛け）■

		合計	問33 市が特に取り組むべきこと							
			気軽に悩みを相談できる場所や機会の充実	若者が自主的に活動できる場所や機会の充実	学習・学び直しができる環境・機会の充実	就労に向けた相談やサポート体制の充実	ひきこもり等の子ども・若者の支援の充実	障がいのある子ども・若者の支援の充実	児童虐待防止に向けた取組の強化	不健全図書類等有害環境から青少年を守る取組の充実
全体		488 100.0%	156 32.0%	214 43.9%	262 53.7%	159 32.6%	191 39.1%	172 35.2%	114 23.4%	83 17.0%
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	133 31.2%	187 43.9%	226 53.1%	133 31.2%	161 37.8%	153 35.9%	106 24.9%	72 16.9%
	母子世帯	47 100.0%	18 38.3%	20 42.6%	29 61.7%	20 42.6%	23 48.9%	15 31.9%	6 12.8%	8 17.0%
	父子世帯	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%
	その他	4 100.0%	2 50.0%	3 75.0%	3 75.0%	3 75.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
世帯年収	300万円未満	54 100.0%	20 37.0%	20 37.0%	30 55.6%	22 40.7%	25 46.3%	17 31.5%	10 18.5%	11 20.4%
	300～500万円未満	96 100.0%	34 35.4%	43 44.8%	56 58.3%	41 42.7%	34 35.4%	35 36.5%	24 25.0%	16 16.7%
	500～700万円未満	131 100.0%	45 34.4%	62 47.3%	78 59.5%	42 32.1%	53 40.5%	45 34.4%	33 25.2%	22 16.8%
	700～900万円未満	89 100.0%	24 27.0%	47 52.8%	51 57.3%	25 28.1%	37 41.6%	33 37.1%	23 25.8%	13 14.6%
	900万円以上	96 100.0%	31 32.3%	39 40.6%	43 44.8%	27 28.1%	40 41.7%	39 40.6%	23 24.0%	20 20.8%
		合計	問33							
			地域における見守りなど非行防止対策の充実	自然に触れられる機会の充実	文化・芸術に触れられる機会の充実	その他	特にない	無回答		
全体		488 100.0%	109 22.3%	173 35.5%	162 33.2%	37 7.6%	19 3.9%	27 5.5%		
世帯状況	両親世帯	426 100.0%	91 21.4%	150 35.2%	143 33.6%	36 8.5%	17 4.0%	25 5.9%		
	母子世帯	47 100.0%	13 27.7%	18 38.3%	15 31.9%	0 0.0%	2 4.3%	2 4.3%		
	父子世帯	6 100.0%	2 33.3%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
	その他	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%		
世帯年収	300万円未満	54 100.0%	18 33.3%	23 42.6%	21 38.9%	3 5.6%	4 7.4%	3 5.6%		
	300～500万円未満	96 100.0%	23 24.0%	43 44.8%	31 32.3%	10 10.4%	3 3.1%	4 4.2%		
	500～700万円未満	131 100.0%	30 22.9%	53 40.5%	48 36.6%	9 6.9%	6 4.6%	3 2.3%		
	700～900万円未満	89 100.0%	20 22.5%	26 29.2%	32 36.0%	8 9.0%	3 3.4%	0 0.0%		
	900万円以上	96 100.0%	17 17.7%	26 27.1%	29 30.2%	5 5.2%	3 3.1%	1 1.0%		